

第66期

# 定時株主総会 招集ご通知



2020年6月24日（水曜日）

日時 午前10時（午前9時開場予定）



大阪府中央区谷町2丁目6番5号

場所

当社本社 9階会議室

（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）

## 決議事項

第1号議案

剰余金の配当の件

第2号議案

取締役12名選任の件

第3号議案

監査役4名選任の件

第4号議案

監査役の報酬額改定の件

第5号議案

退任監査役に対し退職

慰労金贈呈の件

【お願い】

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、みなさまの安全・安心を最優先に、株主総会へのご来場をご検討いただきますようお願い申し上げます。詳細は別紙「第66期定時株主総会における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて」をご参照ください。

- ・ 感染リスクを避けるため、書面による議決権行使を強くご推奨申し上げます。
- ・ 本年はお土産の配布を取りやめさせていただくことになりました。
- ・ 今後の状況により、株主総会の運営に大きな変更が生じる場合がございますので、当社ウェブサイト (<https://www.soft99.co.jp/>) より適宜、発信情報をご確認ください。

【目 次】

|                 |    |
|-----------------|----|
| 第66期定時株主総会招集ご通知 | 3  |
| 議決権行使方法のご案内     | 4  |
| 株主総会参考書類        | 5  |
| 事業報告            | 18 |
| 連結計算書類・計算書類     | 48 |
| 監査報告            | 55 |

# 『生活文化創造企業』の 経営理念のもと、 更なる成長を目指します。

代表取締役社長

田中 秀明



株主のみなさまには、日頃より当社グループの事業活動に格段のご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当事業年度より、みなさまへの情報・ご報告をよりわかりやすい形にできればと、従来は別冊子であった年次報告書とまとめる形で、全編カラーにてご案内させていただいております。

さて、当社グループの第5次中期経営計画『SHIFT DOWN!!』におきましては、当事業年度が最終年度となりました。また、2020年4月より第6次中期経営計画『Overtake!!』をスタートしております。各項目の詳細につきましては、後記にて詳細のご説明をさせていただいておりますので、該当ページをご覧ください。

末筆ながら、新型コロナウイルス感染症被害に遭われたみなさまにお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

## 経営理念

### 生活文化創造企業 ～未来の“あたりまえ”を発見する～

日々の暮らしの中で役立つ、新たな生活様式をつくり出す企業であり続ける。

#### ソフト99グループ行動憲章

私たちソフト99グループは、経営理念『生活文化創造企業』の実践のために5つの行動原則を定め、社会貢献の実現と企業価値の向上を目指します。

1. 未来の『あたりまえ』を発見し、お客様に提案します。(※)
2. 公正・公平な取引先の選定と公明正大な市場取引の実行を徹底します。
3. 従業員の個性と人格を尊重し、快適な職場環境を確保します。
4. 株主・投資家との対話を重視し、誠実で透明性の高い事業運営を行います。
5. 善良なる企業市民として、社会的責任を果たします。

(※) お客様の目線を常に意識し、創意工夫をもって、いつのまにか社会の『あたりまえ』となるような製品・サービスを創出し続けることを目指します。

#### コーポレート・ガバナンスに関する基本方針

- I. 合理的な経営システムの構築～受託者責任を踏まえた取締役会運営～
- II. ステークホルダーとの協調～各利害関係者との適切な協働関係構築～
- III. 経営の透明性確保～説明責任を踏まえた適切なIR活動～

株主のみなさまへ

証券コード 4464  
2020年6月3日

大阪府中央区谷町2丁目6番5号  
株式会社ソフト99コーポレーション  
代表取締役社長 田中秀明

## 第66期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第66期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

当社では会場での感染防止策を可能な限り講じてまいりますが、株主総会へのご出席を予定又は検討されている株主様におかれましては、健康と安全面から慎重なご判断をお願い申し上げます。

なお、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2020年6月23日（火曜日）午後5時30分（営業時間終了時）までに到着するようご返送をお願い申し上げます。

敬 具

記

**1** 日 時 2020年6月24日（水曜日）午前10時（午前9時開場予定）

**2** 場 所 大阪府中央区谷町2丁目6番5号  
**当社本社 9階会議室**（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）

### 報告事項

1. 第66期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人及び監査役会の第66期連結計算書類監査結果報告の件

**3** 目的事項

### 決議事項

- 第1号議案 剰余金の配当の件
- 第2号議案 取締役12名選任の件
- 第3号議案 監査役4名選任の件
- 第4号議案 監査役の報酬額改定の件
- 第5号議案 退任監査役に対し退職慰労金贈呈の件

— 以 上 —

# 議決権行使方法のご案内

## 書面にて 議決権を行使される場合

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、行使期限までに到着するようにご返送ください。



### 議決権行使期限

**2020年6月23日（火曜日）**  
**午後5時30分 到着分まで**  
（営業時間終了時）

## 株主総会 ご出席の場合

同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。また、資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。

※議決権行使書用紙のご郵送は不要です。



### 株主総会日時

**2020年6月24日（水曜日）**  
**午前10時（午前9時開場予定）**

- 本招集ご通知に添付すべき書類のうち、事業報告の「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」並びに連結計算書類の「連結注記表」及び計算書類の「個別注記表」につきましては、法令及び当社定款第16条の規定により、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.soft99.co.jp/>）に掲載しておりますので、本招集ご通知添付書類には記載しておりません。

なお、監査役が監査報告書を、会計監査人が会計監査報告書をそれぞれ作成するに際して監査した事業報告、連結計算書類及び計算書類には、本招集ご通知添付書類記載のもの他、この「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」、「連結注記表」及び「個別注記表」として表示すべき事項も含まれております。

- 本招集ご通知の内容につきましては、本通知発送後に当社ウェブサイトの開示いたしました。
- 事業報告、連結計算書類、計算書類及び株主総会参考書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス同上）に掲載させていただきます。

## 第 1 号 議 案 | 剰余金の配当の件

剰余金の配当につきましては、「安定的な配当の継続」及び「連結営業利益の20%を株主還元を目安」とする基本方針によって実施いたします。

内部留保につきましては、将来の事業拡大と経営体質強化に向けた投資に活用してまいります。

当期の期末配当につきましては、次のとおりとさせていただきたいと存じます。

## (1) 配当財産の種類

金銭といたします。

## (2) 配当財産の割当に関する事項及びその総額

上記の基本方針及び当社を取り巻く経営環境等を総合的に勘案し、普通配当を1株につき金12.0円といたしたいと存じます。

なお、この場合の配当総額は、263,196,564円となります。

これにより、年間配当金は中間配当金（1株につき12.0円）と合わせまして、1株につき24.0円となります。

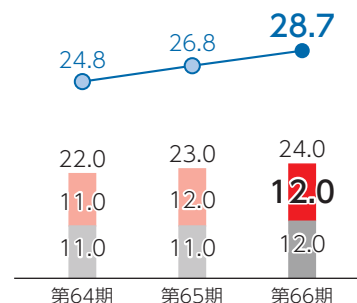
## (3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2020年6月25日といたしたいと存じます。

## 1株当たり配当金・配当性向

12.0 円

■ 中間配当金(円) ■ 期末配当金(円)  
● 年間連結配当性向(%)



第 2 号 議 案 | 取締役12名選任の件

取締役全員（9名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、グループ全体での経営体制の強化を図るため3名増員し、取締役12名（うち社外取締役3名）の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏 名                                                 | 地 位     | 担当及び重要な兼職の状況                                      |
|-------|-----------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------|
| 1     | <div>たなかひであき</div> <div>田中秀明</div> <div>再任</div>    | 代表取締役社長 |                                                   |
| 2     | <div>つじひらはるゆき</div> <div>辻平春幸</div> <div>再任</div>   | 常務取締役   | 生産統括本部長<br>上海速特99化工有限公司 監事                        |
| 3     | <div>おくのよしひで</div> <div>奥 埜 佳 秀</div> <div>再任</div> | 取締役     | 営業統括本部長兼東京支店長<br>(株)オレンジ・ジャパン 取締役<br>(株)くらし企画 取締役 |
| 4     | <div>いし い まこと</div> <div>石 居 誠</div> <div>再任</div>  | 取締役     | 企画開発本部長<br>(株)ハネロン 取締役                            |
| 5     | <div>こにしとしゆき</div> <div>小西紀行</div> <div>再任</div>    | 取締役     | アイオン(株) 代表取締役社長                                   |
| 6     | <div>あがり お しげる</div> <div>上 尾 茂</div> <div>再任</div> | 取締役     | 管理本部長<br>アライズ(株) 取締役<br>(株)ハネロン 取締役               |
| 7     | <div>いこまひであき</div> <div>生 駒 英 昭</div> <div>新任</div> |         | 営業統括本部 副本部長（業務用担当）<br>(株)ソフト99オートサービス 取締役         |
| 8     | <div>たなかかずなり</div> <div>田中 一 成</div> <div>新任</div>  |         | 営業統括本部 副本部長（消費財担当）                                |

| 候補者番号 | 氏 名                                                            | 地 位 | 担当及び重要な兼職の状況                                                              |
|-------|----------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------|
| 9     | <div>みや どの てつ や</div> <div>宮 園 哲 哉</div> <div>新任</div>         |     | 生産統括本部 副本部長                                                               |
| 10    | <div>なか つかさ えい ぞう</div> <div>中 務 英 三</div> <div>再任 社外 独立</div> | 取締役 |                                                                           |
| 11    | <div>い はら けい こ</div> <div>井 原 慶 子</div> <div>再任 社外</div>       | 取締役 | 日産自動車(株) 社外取締役<br>慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科特任教授<br>愛知県春日井市広報大使<br>三重県政策アドバイザー |
| 12    | <div>ふじ い み ほ よ</div> <div>藤 井 美 保 代</div> <div>再任 社外 独立</div> | 取締役 | (株)ビジネスプラスサポート 代表取締役<br>(社)ミャンマー人財開発機構 代表理事                               |

- (注) 1. 中務英三、井原慶子、藤井美保代の3氏は、社外取締役候補者であります。
2. 各候補者と当社の間には特別の利害関係はありません。
3. 井原慶子氏の戸籍上の氏名は本島慶子であります。藤井美保代氏の戸籍上の氏名は井上美保代であります。
4. 中務英三、井原慶子、藤井美保代の3氏は、現在当社の社外取締役であり、その在任期間は本総会終結の時をもって、中務英三氏が6年、井原慶子氏が4年、藤井美保代氏が1年となります。
5. 当社は現在中務英三、藤井美保代の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。再任された場合は、引き続き独立役員とする予定です。
6. 小西紀行は2019年6月19日付でアイオン(株)の代表取締役社長に就任しております。

候補者番号

1

た な か  
田 中

ひ で あ き  
秀 明

(1971年 8月19日生)

再 任



### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

1996年 10月 当社入社  
2008年 6月 当社取締役経営企画室長  
2013年 4月 当社代表取締役社長兼経営企画室長  
2015年 4月 当社代表取締役社長 (現任)

### 取締役候補者とした理由

グループ各社との連携によるシナジー追求、組織活性化、ガバナンス体制強化等を積極的に推進。また、数次にわたり中期経営計画の策定・実行に貢献。これまでの経営者としての実績と各セグメントに対する十分な見識による事業戦略の推進を通して、今後も企業グループの持続的な価値向上に適任であると判断し、引き続き選任をお願いするものです。

所有する当社の株式数

661,976株

取締役会への出席状況

100%(14回/14回)

候補者番号

2

つ じ ひ ら  
辻 平

は る ゆ き  
春 幸

(1956年 8月18日生)

再 任



### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

1975年 3月 当社入社  
2003年 6月 当社取締役三田工場副工場長  
兼物流部長  
2004年 6月 当社取締役三田工場長兼物流部長  
2012年 4月 当社常務取締役三田工場長  
2014年 4月 当社常務取締役生産統括本部長  
兼三田工場長  
2018年 4月 当社常務取締役生産統括本部長  
(現任)

### 取締役候補者とした理由

生産物流部門での豊富な経験・見識に基づき、厳しい雇用・流通環境下において品質向上と安定供給を推進し、グループ全体での生産物流体制の最適化、効率化に貢献。これまでの実績に基づき、多様化、IoT、AI化等の推進を通して今後も企業グループの持続的な価値向上に適任であると判断し、引き続き選任をお願いするものです。

所有する当社の株式数

32,200株

取締役会への出席状況

100%(14回/14回)

(重要な兼職の状況)  
上海速特99化工有限公司監事

招 集  
通 知

株 主 総 会 参 考 書 類

事 業 報 告

連 結 計 算 書 類

計 算 書 類

監 査 報 告

候補者番号

3

おく の  
奥 埜

よし ひで  
佳 秀

(1956年7月3日生)

再任



所有する当社の株式数

45,600株

取締役会への出席状況

100%(14回/14回)

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

- 1979年 4月 当社入社  
2008年 6月 当社取締役営業本部長  
2008年11月 当社取締役営業本部長兼東京支店長  
2014年 4月 当社取締役営業統括本部長兼ホールセール  
ソリューションズ本部長兼ホームプロダクト  
営業部長兼東京支店長  
2017年 4月 当社取締役営業統括本部長  
兼東京支店長 (現任)

(重要な兼職の状況)  
(株)オレンジ・ジャパン取締役  
(株)くらし企画取締役

### 取締役候補者とした理由

営業部門での豊富な経験・見識に基づき、アフターカーマーケット全般を陣頭指揮。当社主要拠点である東京支店を統括しつつ、市場の変化に対応し続ける組織再編と、グループ企業も含め変化を先取りした施策の実行により業績拡大に貢献。

これまでの実績に基づき、今後もグループ各社との相乗効果による企業グループの持続的な価値向上に適任であると判断し、引き続き選任をお願いするものです。

候補者番号

4

いし い  
石 居

まこと  
誠

(1960年6月13日生)

再任



所有する当社の株式数

28,200株

取締役会への出席状況

100%(14回/14回)

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

- 1984年12月 当社入社  
2011年 6月 当社取締役企画開発本部副本部長  
兼研究開発部長  
2013年 4月 当社取締役企画開発本部長  
兼研究開発部長兼商品開発部長  
2016年 4月 当社取締役企画開発本部長 (現任)

(重要な兼職の状況)  
(株)ハネロン取締役

### 取締役候補者とした理由

企画開発部門で当社の幅広い製品開発を行った豊富な経験・見識に基づき、市場変化と品質・環境全般に対応した製品展開を推進し、業績拡大に貢献。

これまでの実績に基づき、今後もグループ各社との相乗効果による企業グループの持続的な価値向上に適任であると判断し、引き続き選任をお願いするものです。

候補者番号

5

こにし  
小西

とし ゆき  
紀行

(1960年3月27日生)

再任



所有する当社の株式数  
38,700株  
取締役会への出席状況  
93%(13回/14回)

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

1983年 4月 当社入社  
2010年 8月 当社営業本部副本部長兼リテイル  
ソリューションズ東日本統括部長  
2011年 7月 当社リテイルソリューションズ本部長  
2016年 6月 当社取締役営業統括本部副本部長  
兼リテイルソリューションズ本部長  
2017年 4月 当社取締役営業統括本部副本部長  
(重要な兼職の状況)  
アイオン㈱代表取締役社長

### 取締役候補者とした理由

ファインケミカルセグメントの消費者向け製品販売での豊富な経験・見識のもと、当社最大の子会社であるアイオン㈱の代表取締役社長としてポーラスマテリアル部門の営業・構造改革に取り組み業績拡大に貢献。  
これまでの実績に基づき、今後もグループ各社との相乗効果による企業グループの持続的な価値向上に適任であると判断し、引き続き選任をお願いするものです。

候補者番号

6

あがり お  
上尾

しげる  
茂

(1963年11月30日生)

再任



所有する当社の株式数  
600株  
取締役会への出席状況  
100%(14回/14回)

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

2012年 7月 ㈱三菱UFJ銀行  
融資部臨店指導室 上席調査役  
2016年11月 当社入社 管理本部副本部長  
2017年 7月 当社管理本部長  
2018年 6月 当社取締役管理本部長 (現任)  
(重要な兼職の状況)  
アライズ㈱取締役  
㈱ハネロン取締役

### 取締役候補者とした理由

金融機関での長年の経験を活かし、豊富な業務知識と幅広い見識によって総務・人事・経理・情報システム等管理部門全般の最適化及びグループ会社の取締役として管理体制の充実・強化を推進。  
これまでの実績に基づき、今後もグループ全体の組織力強化、効率化、ガバナンスの充実を推進することで企業グループの持続的な価値向上に適任であると判断し、引き続き選任をお願いするものです。

候補者番号

7

い こ ま  
生 駒

ひ で あ き  
英 昭

(1962年1月30日生)

新任



所有する当社の株式数

38,800株

取締役会への出席状況

-

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

1984年 4月 当社入社  
2009年 4月 当社西日本開発営業部長  
2012年 4月 当社開発営業本部副本部長  
2017年 4月 当社営業統括本部副本部長  
(業務用担当) (現任)

(重要な兼職の状況)  
(株)ソフト99オートサービス取締役

### 取締役候補者とした理由

ファインケミカルセグメントの多岐にわたる業務用製品分野を自ら広く開拓し、当社の主要な柱に育て上げ、また子会社の取締役として業務用分野のグループシナジー追及により業績拡大に貢献。これまでの実績と経験から、当社の取締役としての職責を十分に果たしえる人物と判断し、新たに選任をお願いするものです。

候補者番号

8

た な か  
田 中

か ず な り  
一 成

(1961年11月30日生)

新任



所有する当社の株式数

28,600株

取締役会への出席状況

-

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

1984年 4月 当社入社  
2006年 4月 当社東京第二営業部長  
2011年 7月 当社リテイルソリューションズ東日本統括部長  
2017年 4月 当社営業統括本部副本部長  
(消費財担当) (現任)

### 取締役候補者とした理由

入社以来一貫してファインケミカルセグメントの主力である国内消費者向け製品分野において営業経験を積み、その間、激変してきた既存市場に俊敏に対応、業界での確固たる地位を固守し、業績拡大に貢献。これまでの実績と経験から、当社の取締役としての職責を十分に果たしえる人物と判断し、新たに選任をお願いするものです。

候補者番号

9

みやぞの

てつや

(1962年5月27日生)

新任



所有する当社の株式数

4,400株

取締役会への出席状況

-

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

1985年 4月 当社入社  
2005年 4月 当社三田工場購買管理室長  
2010年 4月 当社三田工場製造部長  
2018年 4月 当社生産統括本部副本部長 (現任)

### 取締役候補者とした理由

入社以来ファインケミカルセグメントの生産統括部門において、各部署の責任者を歴任。海外市場も含めて数百種に及ぶ製品の品質向上、安定供給、生産効率向上により業績拡大に貢献。これまでの実績と経験から、当社の取締役としての職責を十分に果たしえる人物と判断し、新たに選任をお願いするものです。

候補者番号

10

なかつかさ

えいぞう

(1951年5月23日生)

再任

社外

独立



所有する当社の株式数

- 株

取締役会への出席状況

100%(14回/14回)

監査役会への出席状況

100%(13回/13回)

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

1974年 4月 伊藤忠商事(株)入社  
1990年 4月 ノムラ・インターナショナルp l c  
(野村グループ英国現地法人) 入社  
2003年10月 伊藤忠ヨーロッパ会社入社  
2008年10月 伊藤忠ロジスティクス英国会社入社  
2014年 6月 当社社外取締役 (現任)

### 社外取締役候補者とした理由

英国にて約30年間にわたり複数企業で、財務・経理・経営企画等管理部門全般の業務に精通。就任後はそのグローバルな経験と知識に基づき、独立した立場から取締役会運営の監督・業務執行に関する提言をいただいております。今後も社外取締役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断し、引き続き選任をお願いするものです。

招集  
通知

株主総会  
参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

候補者番号

11

い はら  
井 原

けい こ  
慶 子

(1973年7月4日生)

再任

社外



所有する当社の株式数  
- 株  
取締役会への出席状況  
100%(14回/14回)  
監査役会への出席状況  
-

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

- 2014年 7月 愛知県春日井市広報大使 (現任)
- 2015年 4月 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科  
特任教授就任 (現任)
- 2016年 4月 三重県政策アドバイザー (現任)
- 2016年 6月 当社社外取締役 (現任)
- 2018年 6月 日産自動車㈱社外取締役 (現任)

### 社外取締役候補者とした理由

産官学の幅広い分野での自動車産業発展への取り組み、モータースポーツへの女性参加の環境づくりを通じた女性活躍社会の実現等を推進されています。挑戦者としての前向きな姿勢と自身がレーサーでもある自動車産業全般の経験と知識に基づき、取締役会では独立した立場で攻めの活動を重視した様々な提言をいただいております。今後も社外取締役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断し、引き続き選任をお願いするものです。

候補者番号

12

ふじ い  
藤 井

み ほ よ  
美 保 代

(1965年3月11日生)

再任

社外

独立



所有する当社の株式数  
- 株  
取締役会への出席状況  
100%(11回/11回)  
監査役会への出席状況  
-

### 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)

- 1987年 4月 ソニー企業㈱入社
- 1993年 4月 ソニーヒューマンキャピタル㈱入社
- 1998年 9月 経営士 (通産大臣許可29第2638号)  
登録
- 1999年 5月 京都府中小企業支援アドバイザー  
委嘱
- 2002年 7月 ㈱ビジネスプラスサポート設立  
代表取締役就任 (現任)
- 2018年 4月 一般社団法人ミャンマー人財開発  
機構設立 代表理事就任 (現任)
- 2019年 6月 当社社外取締役 (現任)

### 社外取締役候補者とした理由

法人向けのビジネス研修や生産性向上・業務改善のコンサルティングを行う「輝く人財作りを支援する」を経営理念に掲げる企業を自ら起業し経営。一方で国際社会の調和親睦及び地域社会の発展に寄与するために一般社団法人を設立されています。経営者としての知見とグローバルな視野に基づき取締役会では独立した立場で客観性を重視した様々な提言をいただいております。今後も社外取締役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断し、引き続き選任をお願いするものです。

# 第 3 号 議 案 | 監査役 4 名選任の件

監査役全員（4名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。また監査役竹村聡氏は退任されますので、監査役4名（うち社外監査役2名）の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては、あらかじめ監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏 名                                                                                     | 地 位   | 重要な兼職の状況                                 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------|
| 1     | <div> <small>ふる い ゆたか</small><br/> <b>古 居 祐</b><br/> <small>再任</small> </div>           | 常勤監査役 | (株)ハネロン 監査役                              |
| 2     | <div> <small>ふく い たけ し</small><br/> <b>福 井 健 司</b><br/> <small>新任</small> </div>        |       | (株)オレンジ・ジャパン 監査役<br>(株)くらし企画 監査役         |
| 3     | <div> <small>ひら い やす ひろ</small><br/> <b>平 井 康 博</b><br/> <small>再任 社外 独立</small> </div> | 監査役   | 平井康博法律事務所 代表 弁護士                         |
| 4     | <div> <small>ひ ぐち ひで あき</small><br/> <b>樋 口 秀 明</b><br/> <small>再任 社外 独立</small> </div> | 監査役   | 樋口秀明公認会計士事務所 代表 公認会計士・税理士<br>アイオン(株) 監査役 |

- (注) 1. 平井康博、樋口秀明の両氏は、社外監査役候補者であります。
2. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
3. 平井康博、樋口秀明の両氏は、現在当社の社外監査役であり、その在任期間は本総会終結の時をもって平井康博氏が12年、樋口秀明氏は8年となります。
4. 当社は、平井康博、樋口秀明の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。再任された場合は、引き続き独立役員とする予定です。

候補者番号

1

ふる い  
古 居

ゆたか  
祐

(1953年6月11日生)

再任



### 略歴、当社における地位 (重要な兼職の状況)

1982年 8月 当社入社  
2002年 4月 当社内部監査室長  
2012年 6月 当社常勤監査役（現任）  
(重要な兼職の状況)  
㈱ハネロン監査役

### 監査役候補者とした理由

当社業務全般を熟知のうえ、当社グループ各事業に関する豊富な知見から、監査役就任以来、常勤監査役として取締役の職務執行を適切に監査しております。これまでの実績と経験から、今後もグループ経営全般の監督と適正な監査活動に適任であると判断し、引き続き選任をお願いするものです。

所有する当社の株式数

28,400株

取締役会への出席状況

71%(10回/14回)

監査役会への出席状況

77%(10回/13回)

候補者番号

2

ふ く い  
福 井

た け し  
健 司

(1960年10月5日生)

新任



### 略歴、当社における地位 (重要な兼職の状況)

1983年 4月 当社入社  
2004年 4月 当社東京業務部長  
2015年 6月 当社業務部（大阪）部長  
2020年 4月 当社監査役補佐（現任）  
(重要な兼職の状況)  
㈱オレンジ・ジャパン監査役  
㈱くらし企画監査役

### 監査役候補者とした理由

入社以来、ファインケミカル事業の営業、業務部門において豊富な業務知識と経験を積み、長きにわたり業務部門の責任者を務めました。2017年からはグループ2社での監査役の職務も適切に遂行しております。これまでの実績と経験から、当社業務全般を熟知している社内監査役として、その職責を十分に果たしえる人物と判断し、新たに選任をお願いするものです。

所有する当社の株式数

81,376株

取締役会への出席状況

-

監査役会への出席状況

-

候補者番号

3

ひら い  
平井

やす ひろ  
康博

(1956年6月15日生)

再任

社外

独立



所有する当社の株式数  
- 株

取締役会への出席状況  
100%(14回/14回)

監査役会への出席状況  
100%(13回/13回)

### 略歴、当社における地位 (重要な兼職の状況)

- 1988年 4月 弁護士登録 (現)
- 1994年 4月 山本・平井法律事務所共同設立
- 2008年 1月 平井康博法律事務所開設
- 2008年 6月 当社監査役 (現任)

### 社外監査役候補者とした理由

法律に関する高度な専門知識と弁護士としての長年の実務経験に基づき、独立した立場から、当社グループのコンプライアンス経営の監視・強化のために適宜有益な意見をいただいております。これまでの実績と経験から、今後も法律面から経営を監視いただくため、社外監査役として適任であると判断し、引き続き選任をお願いするものです。

候補者番号

4

ひ ぐち  
樋口

ひで あき  
秀明

(1971年4月14日生)

再任

社外

独立



所有する当社の株式数  
7,300株

取締役会への出席状況  
100%(14回/14回)

監査役会への出席状況  
100%(13回/13回)

### 略歴、当社における地位 (重要な兼職の状況)

- 1994年 4月 (株)日本長期信用銀行 (現(株)新生銀行) 入行
  - 2006年12月 監査法人トーマツ入社
  - 2008年 4月 G C A サヴィアングループ(株) (現G C A(株)) 入社
  - 2008年 7月 公認会計士登録 (現)
  - 2011年 5月 樋口秀明公認会計士事務所開設
  - 2011年 7月 税理士登録 (現)
  - 2012年 4月 税理士法人イデア共同設立社員就任 (現任)
  - 2012年 6月 当社監査役 (現任)
- (重要な兼職の状況)  
アイオン(株)監査役

### 社外監査役候補者とした理由

財務・税務等に関する高度な専門知識とM&Aアドバイザーとしての実務経験に基づき、独立した立場から、当社グループ経営の監視・強化のために適宜有益な意見をいただいております。これまでの実績と経験から、今後も、経営の意思決定プロセスの妥当性はじめ経営全般を監視いただくため、社外監査役として適任であると判断し、引き続き選任をお願いするものです。

## 第 4 号 議 案 | 監査役の報酬額改定の件

当社の監査役の報酬額は、1998年6月29日開催の第44期定時株主総会において、年額3千万円以内と決議いただき今日に至っておりますが、その後の監査役の増員、経済情勢の変化等諸般の事情を考慮いたしまして、監査役の報酬額を年額5千万円以内と改めさせていただきたいと存じます。

また、現在の監査役は4名であります。

## 第 5 号 議 案 | 退任監査役に対し退職慰労金贈呈の件

監査役竹村聡氏は本総会終結の時をもって任期満了により退任されますので、在任中の功労に報いるため、当社所定の基準に従い相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈いたしたいと存じます。

なお、その具体的金額、贈呈の時期及び方法等は、監査役の協議にご一任願いたいと存じます。

退任監査役の略歴は次のとおりであります。

| 氏 名  | 略 歴               |
|------|-------------------|
| 竹村 聡 | 2012年6月 当社監査役（現任） |

以 上

# 事業報告 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足元で大幅に下押しされており、厳しい状況にあります。加えて、個人消費に関しても、2019年10月から施行された消費税率の引上げの影響から消費者心理は低調に推移しました。また、世界経済においても、同感染症の世界的大流行の影響により、経済活動が抑制されたことから足元で急速に減速しており、先行きについても、当面この影響が続くとみられ、金融資本市場の変動等の経済への影響を注視する必要がある状況です。

このような経済環境のもとで、当社グループは「生活文化創造企業」の経営理念のもと、日々の暮らしの中で役立つ新たな生活様式の創造を目指して事業活動に努めてまいりましたが、当連結会計年度の経営成績は、売上高244億34百万円、前期比1億27百万円（0.5%）の減収、営業利益24億21百万円、前期比96百万円（3.8%）の減益、経常利益25億85百万円、前期比1億円（3.7%）の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は18億24百万円、前期比37百万円（2.0%）の減益となりました。

#### 第5次中期経営計画

## 「SHIFT DOWN!!」

2017年4月～2020年3月



#### 自動車分野

#### ビジョン

自動車産業のグローバル化・自動車ハイテク化時代の到来に向けて、新たな人とクルマの繋がりをつくる。

#### 基本方針

新時代の自動車において安心・安全・快適を実現



#### 産業分野

#### ビジョン

表面改質と機能性精密多孔質体の技術を、幅広い産業分野における問題解決に活用する。

#### 基本方針

新たな柱となる市場の開拓



#### 生活分野

#### ビジョン

日々の暮らしの中で起こる小さな悩み・ストレスを解消し、より快適な生活環境をつくる。

#### 基本方針

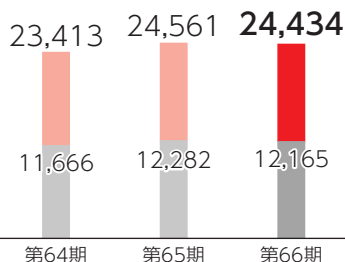
ニッチ市場での存在感確立

## 第66期ダイジェスト

### 売上高

24,434 百万円

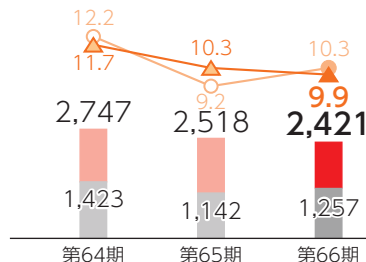
■ 2Q(累計) ■ 1Y (百万円)



### 営業利益・売上高営業利益率

2,421 百万円

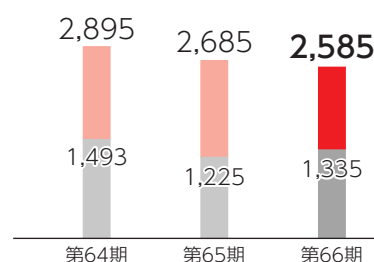
営業利益(百万円) ■ 2Q(累計) ■ 1Y  
売上高営業利益率(%) ○ 2Q(累計) △ 1Y



### 経常利益

2,585 百万円

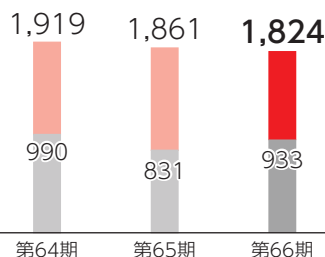
■ 2Q(累計) ■ 1Y (百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益

1,824 百万円

■ 2Q(累計) ■ 1Y (百万円)

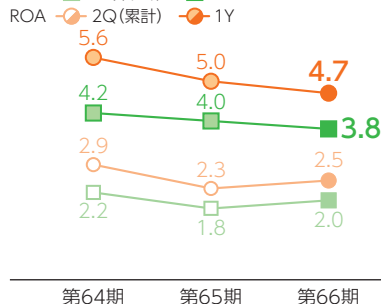


### ROE・ROA

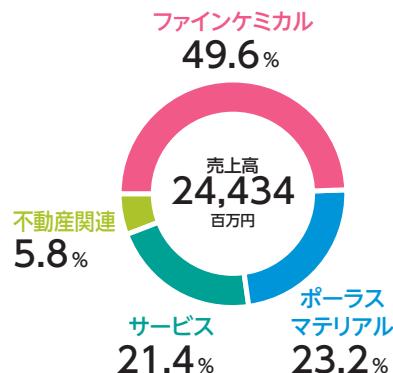
ROE 3.8%

ROA 4.7%

ROE ■ 2Q(累計) ■ 1Y (％)  
ROA ○ 2Q(累計) △ 1Y



### セグメント別売上高構成比



## 解説

### 売上高

ファインケミカルの一般消費者向け製品販売が売上を牽引したものの、ポラスマテリアルの生活資材の海外向け販売や、前期に好調であったサービスセグメントの自動車整備・钣金事業が振るわず、全体では減収となりました。

### 営業利益

生産及び営業能力増強のための人件費の増加や、広告宣伝費の増加等により減益となりました。

# Topics

ボディとガラスを同時に強力撥水コーティング！

## 「レインドロップ」のTVCMを放映

2019年3月の発売から多くのお客様にご好評をいただいております『レインドロップ』のTVCMを放映いたしました。製品のこだわりポイントを「ダイレクトバズーカ」「イージーワイプ」「コンプリートスプラッシュ」という“3つの必殺技”として発動することで、汚れた車に立ち向かうレインドロップマンの果敢な雄姿を、戦隊ヒーローのオープニングテーマを彷彿とさせる軽快なオリジナル楽曲に合わせ、コミカルに表現しました。



# New Products

プロ用ガラス系ボディコーティングが、2020年4月に刷新  
「リアルガラスコート」に3ラインが新登場

プロ施工ガラス系プレミアムコーティング・ブランドの「G'ZOX」は、当社が半世紀以上にわたり自動車用ケミカル市場で培ってきた経験と、研究開発により生み出された最先端技術との結晶です。当社はボディコーティングの新たな価値創出を目指し、「G'ZOX」のリブランディングを実施しました。

新製品は、シリーズ最高峰の艶と光沢を誇る「クラスM」、抜群の水キレ性能を特長とした疎水性の「クラスH」、クリスタルガラスを彷彿させる美しい光沢と撥水性を実現した「クラスR」の3ラインです。



“泡”を追求したシャンプー

## 「パーフェクトフォーム スターティングセット」

従来の洗車用品によくある「すすぎの速さ」や「泡切れのよさ」といった機能性重視のコンセプトから離れ、洗車を行う人の感性をくすぐる「洗い心地」や「泡の感触」、「嗅覚への刺激」等を重視し、洗車することが楽しくなる仕掛けを取り入れた製品です。



各セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

## Fine Chemical

### ファインケミカル

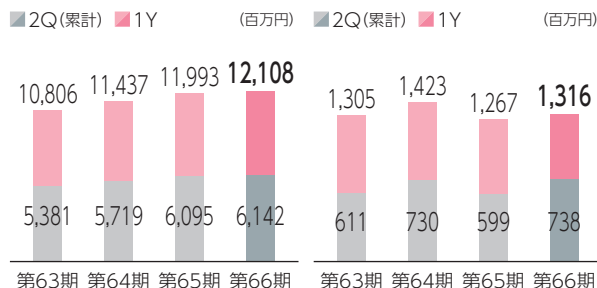


#### 売上高

**12,108**百万円  
前期比 **1.0%** 増

#### 営業利益

**1,316**百万円  
前期比 **3.8%** 増



当社の取引先であるカー用品専門店においては、上半期にて、2019年10月より施行された消費税増税や、タイヤの値上げによる駆け込み需要があったものの、下半期にその反動減が発生いたしました。また、当期は全国的に暖冬であり、降雪が少なかったことから、冬季商材の販売動向が芳しくなく、更に新型コロナウイルス感染症対策の一環として、車検満了日の延長も施行されたことから、来店水準が前期を下回っております。

自動車の販売台数に関しても、中古乗用車販売は前期を上回っているものの、普通乗用車、軽自動車ともに新車販売は前期を下回っております。

### ■ 一般消費者向け販売

自動車ボディお手入れ製品は、2019年3月に販売を開始した洗車の時短化がテーマの製品「レインドロップ」が市場から高く評価され、またTVCMを年末より開始したことで認知度も高まったことから販売が好調に推移し、前期を上回りました。

ガラスお手入れ製品は、「ガラコワイパー」の販売が冬季用ワイパーの展開店舗の拡大に伴って好調に推移したことや、「窓フクピカ」等のクリーナー製品の販売が順調だったことも後押しし、前期を上回りました。

自動車用補修製品は、主要取引先において取扱量が減少したことから、前期を下回りました。しかし、他製品群の堅調な販売により、一般消費者向け販売全体では前期を上回る結果となりました。

## ■ 業務用製品販売

当社ブランドの業務用コーティング剤は中古車販売好調の背景から順調に施工が進み、前期を上回りました。一方で、OEM製品販売は新車販売の低減により施工台数が低調に推移したことや、輸入車インポーター向けワイパーの初回導入があった前期実績に対し当期は在庫補充に留まったことで販売量が伸びず、全体でも前期を下回る結果となりました。

## ■ 家庭用製品販売

主力のメガネケア製品において、「メガネのシャンプー」や「メガネのくもり止め」が新型コロナウイルス感染症対策に伴うマスク需要を受け、当第4四半期において販売量が増加したことに加え、メガネ用OEM製品の販売も好調であったことから、前期を上回る結果となりました。

## ■ 海外向け販売

中国エリアでは、中国本土において主力製品の販売が増加したため前期を上回りました。一方、香港においては情勢が不安定である影響から販売量が減少し、中国エリア全体でも前期をやや下回る結果となりました。

中国を除く東アジアでは、韓国において日韓関係の悪化に起因する不買運動の終息が見え始め、前期をわずかに上回りました。また、台湾やモンゴルでの出荷も好調だったことから、東アジア全体でも前期を上回りました。

東南アジアでは、フィリピンやマレーシア向け出荷は伸びたものの、他の国々が低調に推移したことから、前期を下回りました。

ロシアでは、前期より販売を開始した新たな高付加価値タイプのガラスコーティング製品や、潤滑油や不凍液の出荷が順調で、出荷がまとまったことに加え、他のCIS諸国への出荷も増加したことから、前期を上回りました。

欧州では、化学品規制に対応した新処方のワックスの出荷が再開されたことに加え、ワックス以外の販売も拡大したことにより、前期を上回りました。

また、近年好調であったブラジル向けへの出荷は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、その出荷量が減少してきております。海外向け販売全体ではロシアの好調を受け、前期を上回る結果となりました。

## ■ TPMS（Tire Pressure Monitoring System:タイヤ空気圧監視装置）の企画・開発・販売

乗用車向けTPMSのOEM製品販売や、自社ブランド製品の販売を開始したことが後押しし、前期を上回る結果となりました。

## ■ 電子機器・ソフトウェア開発販売

携帯電話回線の3Gサービス終了の方針を受け、当社旧製品ユーザーからの更新需要が発生したことから、前期を上回る結果となりました。

これらの結果、＜ファインケミカル＞事業の売上高は121億8百万円、前期比1億14百万円（1.0%）の増収、営業利益は、前期の製品価格改定に伴う原価率改善等により13億16百万円、前期比48百万円（3.8%）の増益となりました。

# Porous Materials

## ポーラスマテリアル

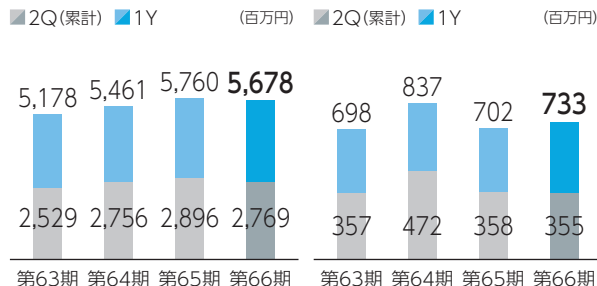


### 売上高

**5,678**百万円  
前期比 **▶ 1.4% 減**

### 営業利益

**733**百万円  
前期比 **▶ 4.4% 増**



### 産業資材部門

半導体市場は、上半期において米中貿易摩擦に伴うハイテク産業の低迷で不調が続いておりましたが、下半期より回復傾向にあり、特にメモリー市場は高い成長率が期待できるとされています。

国内向け販売は、需要の回復傾向がみられるものの、好調であった前期のペースには届かず、また、製造業全般の不調に伴い、設備投資に関わる製品群の販売も低調に推移したことから、前期を下回る結果となりました。

海外向け販売は、海外の大手ユーザーにおいて新型コロナウイルス感染症起因の物流不安から、在庫積み増し需要があったことを受け、前期を上回りました。また、HDD向け研磨需要も好調に推移したこともあり、産業資材部門全体では前期を上回る結果となりました。

### 生活資材部門

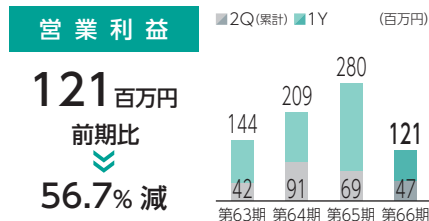
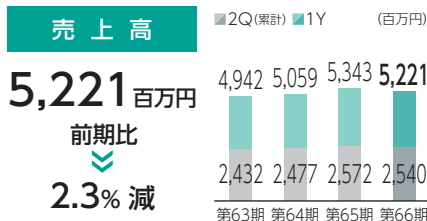
国内向け販売は、自動車用製品や家庭用スポンジの需要が好調で、加えて、生産体制が整い供給が安定したことも後押しし、前期を上回りました。

海外向け販売については、米国において小売業のEC化が進む中、実店舗での販売が低調に推移したことから、現地で在庫調整が発生し、前期を大きく下回りました。そのため、国内の好調分で全体のマイナスを補うには至らず、生活資材部門全体では前期を下回る結果となりました。

これらの結果、＜ポーラスマテリアル＞事業の売上高は、56億78百万円、前期比81百万円（1.4%）の減収となりました。一方で営業利益においては、人員の増加や研究開発費等の将来を見据えた先行的な費用が増加しましたが、セールスミックスの改善によって収益性が向上したことで、7億33百万円、前期比31百万円（4.4%）の増益となりました。

# Service

## サービス



### 自動車整備・钣金事業

钣金事業においては、前期の台風被害による特需的な在庫増加と比較して、その需要が平年並みに戻ったこと等により、前期を下回りました。

### 自動車教習事業

自動車教習の入所者数が堅調に推移する中で、指導員体制の更なる強化により適切な教習時限数を確保していることに加え、当期から社会的要請を受けて対応を強化している高齢者講習も好調に推移し、前期を上回りました。

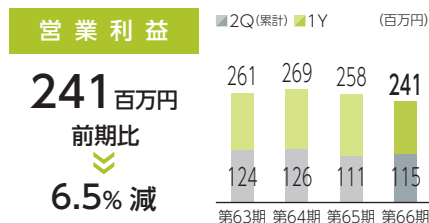
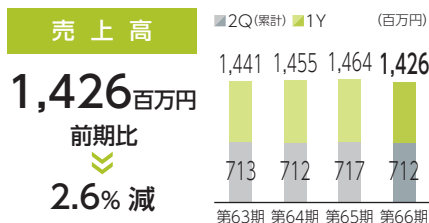
### 生活用品企画販売事業

主力の生協向け販売において、マスクや外出自粛要請に伴う通信販売需要が増加したことで、前期を上回りました。

これらの結果、＜サービス＞事業の売上高は52億21百万円、前期比1億22百万円（2.3%）の減収、営業利益は1億21百万円、前期比1億58百万円（56.7%）の減益となりました。

# Real Estate

## 不動産関連



### 不動産賃貸事業

保有物件において安定した稼働率を保ったことで前期を上回りました。

### 温浴事業

競合店の新規出店の影響を受けた店舗での売上減少分を、他店舗でカバーしきれなかったため、前期を下回りました。

### 介護予防支援事業

登録者数及び利用者数が伸び悩んだため、前期をやや下回りました。

これらの結果、＜不動産関連＞事業の売上高は14億26百万円、前期比37百万円（2.6%）の減収、営業利益は2億41百万円、前期比16百万円（6.5%）の減益となりました。

## (2) 企業集団の主要な事業セグメント (2020年3月31日現在)

| 事業セグメント                                                                                                      | 主要製品・事業内容等                                                                                       | 売上高<br>(百万円) | 構成比<br>(%) | 前期比<br>(%) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------------|------------|
| <b>&lt;ファインケミカル&gt;</b><br>(株)ソフト９９コーポレーション<br>上海速特９９化工有限公司<br>アスモ(株)<br>(株)オレンジ・ジャパン<br>(株)アンテリア<br>(株)ハネロン | カー用品（一般・業務用）<br>家庭用品等製品<br>樹脂容器企画販売事業<br>T P M S の企画・開発・販売事業<br>自動車用品の輸入販売事業<br>電子機器・ソフトウェアの開発事業 | 12,108       | 49.6       | 101.0      |
| <b>&lt;ポーラスマテリアル&gt;</b><br>アイオン(株)                                                                          | 吸水・洗浄事業、ろ過事業<br>研磨事業、生活資材事業                                                                      | 5,678        | 23.2       | 98.6       |
| <b>&lt;サービス&gt;</b><br>(株)ソフト９９オートサービス<br>アスモ(株)<br>(株)くらし企画                                                 | 自動車整備・钣金事業<br>自動車教習事業<br>生活用品等企画販売事業                                                             | 5,221        | 21.4       | 97.7       |
| <b>&lt;不動産関連&gt;</b><br>(株)ソフト９９コーポレーション<br>アライズ(株)                                                          | 不動産賃貸事業<br>温浴事業、介護予防支援事業                                                                         | 1,426        | 5.8        | 97.4       |
| 合 計                                                                                                          |                                                                                                  | 24,434       | 100.0      | 99.5       |

## (3) 設備投資の状況

当連結会計年度に実施いたしました設備投資の総額は、８億１２百万円で、その主なものは次のとおりであります。

| 事業セグメント                  | 会 社 名            | 区 分              |
|--------------------------|------------------|------------------|
| <b>&lt;ファインケミカル&gt;</b>  | (株)ソフト９９コーポレーション | 工具器具備品<br>ソフトウェア |
| <b>&lt;ポーラスマテリアル&gt;</b> | アイオン(株)          | 機械装置<br>工具器具備品   |
| <b>&lt;サービス&gt;</b>      | (株)ソフト９９オートサービス  | 建物及び構築物<br>車両運搬具 |
| <b>&lt;不動産関連&gt;</b>     | (株)ソフト９９コーポレーション | 建物及び構築物          |

なお、これらの設備投資資金は全額自己資金により充当しました。

## (4) 資金調達の状況

該当事項はありません。

## (5) 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                           | 第63期<br>2017年3月期 | 第64期<br>2018年3月期 | 第65期<br>2019年3月期 | 第66期<br>(当連結会計年度)<br>2020年3月期 |
|-------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------------------|
| 売 上 高 (百万円)                   | 22,369           | 23,413           | 24,561           | 24,434                        |
| 経 常 利 益 (百万円)                 | 2,597            | 2,895            | 2,685            | 2,585                         |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益 (百万円) | 1,790            | 1,919            | 1,861            | 1,824                         |
| 1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)       | 82.57            | 88.57            | 85.81            | 83.74                         |
| 総 資 産 (百万円)                   | 50,670           | *53,073          | 53,867           | 55,255                        |
| 純 資 産 (百万円)                   | 44,279           | 45,836           | 47,006           | 48,380                        |
| 1 株 当 た り 純 資 産 額 (円)         | 2,040.79         | 2,117.23         | 2,162.14         | 2,217.42                      |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産額は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。
2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を第65期の期首から適用しており、第64期の総資産の金額については、当該会計基準を遡って適用した場合の金額となっております。

## (6) 子会社の状況

| 会 社 名            | 資 本 金  | 当社の出資比率 | 主要な事業内容                                |
|------------------|--------|---------|----------------------------------------|
| アイオン株式会社         | 482百万円 | 100%    | 吸水・洗浄事業、ろ過事業<br>研磨事業、生活資材事業            |
| アスモ株式会社          | 80百万円  | 100%    | 自動車教習事業<br>プラスチック製品の成型加工販売事業           |
| 株式会社くらし企画        | 50百万円  | 100%    | 生活用品等企画販売事業                            |
| 株式会社ソフト９９オートサービス | 50百万円  | 100%    | 自動車整備・钣金塗装事業<br>オートリース事業               |
| アライズ株式会社         | 50百万円  | 100%    | 介護予防支援事業                               |
| 株式会社オレンジ・ジャパン    | 30百万円  | 100%    | TPMSの企画・開発・販売事業                        |
| 株式会社アンテリア        | 10百万円  | 100%    | 海外カー・バイク・ホームケア用品、<br>機械メンテナンス用品の輸入販売事業 |
| 株式会社ハネロン         | 33百万円  | 100%    | 電子機器及び関連機器の<br>開発・製造・販売                |
| 上海速特９９化工有限公司     | 5百万米ドル | 100%    | 自動車用化学製品の製造販売事業                        |

## (7) 対処すべき課題

第5次中期経営計画（2017年4月～2020年3月）で想定していた新しい取り組みに向けた施策の進捗・達成状況は以下のとおりです。

当社グループは「環境変化への対応」「更なる業容拡大」「余資活用による経営効率の改善」を経営課題として認識し、前（第5次）中期経営計画では各セグメントにおいて将来の事業拡大と新事業開発を積極的に進めることを目指し、特にファインケミカルセグメントを計画の成長ドライバーと位置付けて事業運営に取り組んでまいりました。

ファインケミカルセグメントにおいては、業務用製品販売と海外事業の拡大を目指しており、これらが販売の拡大を牽引しました。業務用製品販売においては、自社ブランドコーティング剤の販売伸長に加え、OEM製品展開の拡大によって販売が伸長しました。海外販売においては、欧州・ブラジル・インド等の新しい仕向け地域において、現地語パッケージ製品の製造を進め、個々の地域性に応じたマーケティング施策を強化することで市場規模を拡大してまいりました。また、自動車分野以外の新しい取り組みとして、M&Aによって2019年より電子機器・ソフトウェア開発販売をスタートしました。現在は当社既存のノウハウにエレクトロニクス技術を活用することによるシナジーの発揮を目指した製品・サービス開発の取り組みを進めております。

一方、自動車の保有形態や利用方法が多様化しつつある状況において、一般消費者向け製品販売分野では、車内清掃や時短ニーズに向けた新しい製品開発、新たな販売チャネル育成等を進めてまいりましたが、大きな市場育成にまでは至っておりません。また、TPMS企画・開発・販売の分野では、後付け型製品についてはトラック・バス向け市場の着実な増加や、乗用車向け製品のOEM展開に一定の成果があったものの、新車へのTPMS搭載が進まなかったこと等もあり、補修交換センサー市場の需要拡大には時間のかかる状況となりました。

ポラスマテリアルセグメントにおいては、半導体市場の活況に合わせて半導体洗浄製品の販売が大きく伸長、また、ファインケミカルセグメントとの販路・販売リソース共有により、生活資材分野の販売が伸長したことから、生産設備の増強の必要性が明らかになりました。これに伴い、計画2年目以降は設備投資及び人員の増加を前倒しで実施することにより生産力の増強を進めてまいりましたが、米中貿易摩擦の影響を受けて半導体市場が縮小したことに加え、米国において小売業のEC化が進む中で代理店のEC対応が十分に進まず、実店舗での販売が低調に推移したことから出荷量は減少することとなりました。

一方、既存事業だけに頼らない、新しい事業の柱を構築すべく、医療・環境分野での新製品開発に取り組んでまいりました。医療分野については、医療機器クラスI認証を取得し、今後の製品開発と販売拡大を目指し、更に注力すべき分野と位置付けております。

サービスセグメントにおいては、钣金事業や自動車教習事業等において保有しているアナログ的な知見をデジタル化することによる既存ビジネスの効率化と新ビジネスの創出に取り組んでまいりましたが、これらの事業化については、まだ一定の時間がかかる見通しとなっております。

グループ全体としては、様々な新しい取り組みに着手・進行しており、一定の成果が出つつありますが、これらはまだ新たな事業の柱と言える状況ではなく、今後も引き続き成長に向けた研究開発・販売拡大を進める必要があると考えております。

### （１）経営環境

当社を取り巻く環境として、前（第５次）中期経営計画で想定していた自動車保有形態の変化、お手入れ関連商品購買に関するユーザーの意識変化や、ハイテク関連市場の競争激化といった市場の変化は、着実に進行している状況です。また、近年はこれらに加えて、「所有から利用」「時間に対する価値意識」「決済方法の多様化」等、ユーザーの消費意識の変化が顕著に表れております。更にＳＤＧｓに代表されるサステナビリティへの社会的な取り組みの進展や、デジタルトランスフォーメーションの進行・浸透により、これまでの不便で当たり前だったことがデジタル技術を用いて劇的に改善される可能性が高まっています。当社は、こういったユーザーや市場の変化によって新たなビジネスチャンスが生まれてくる状況であると認識しております。

### （２）経営方針

当社グループは、創業以来掲げてきた「生活文化創造企業」をグループ共通の経営理念とし、グループ全ての事業において、生活文化創造～未来の『あたりまえ』を発見する～という共通理念のもと、事業運営に取り組んでおります。

### （３）経営戦略等

当社グループは2020年４月に新たな中期経営計画「Over take！！」を策定いたしました。この中期経営計画においては、当社グループがこれまで進めてきた各セグメントの新しい取り組みに加え、視野を更に広げることで幅広い分野の顧客の消費意識の変化を先取りした新しい価値の創出を進め、社会の要請に応えることを目指しております。

当計画では、経営ビジョンを『より幅広い社会課題（事業機会）に向けた“他にない”製品・サービス開発と事業化』と設定し、これを実現するための経営基本方針として、『事業領域の拡張に向けた既存技術ノウハウの横展開の更なる推進と、新たな技術ノウハウの取り込み・技術ノウハウ同士の掛け合わせによる事業領域の拡張』を設定しております。

#### (4) 各セグメントにおける事業計画

##### <ファインケミカル>

自動車分野では、消費者にカーライフの「キレイ」「安全・安心・快適」「修復」を届ける活動を推進していきます。

一般消費者向け販売におきましては、近年増えている自動車美装の簡略化ニーズに応える施策の実施や、得意先小売店毎にアジャストした既販車メンテナンスサービスの構築等、自動車美装ケミカルのリーディングカンパニーとして、ユーザーのカーライフ全体を通じた自動車の快適・美化・衛生を保つ製品・サービスの提供に努めてまいります。

業務用製品販売におきましては、長くご好評いただいておりますG'ZOXブランドの再構築に加え、OEMブランドの国内・海外へ向けた展開、車内向け製品・サービスの拡充等により製品・サービスの見直しをかけつつ、新ビジネスの創出を目指します。また、自動車分野以外にもビルメンテナンスやクリーニングといった「キレイ」を求めるあらゆる業界へのアプローチの継続や、表面改質技術を活用した印刷・接着業界に向けた問題解決提案を行うことにより、新たな事業領域の拡張につなげてまいります。

海外向け販売におきましては、足がかりのついたエリアへの更なる価値提供推進と、新規開拓エリアへのアプローチ方法見直しにより事業拡大を進めてまいります。特に欧州・ロシア・南米・南アジア等の重点エリアにおいては、専用品の投入とその浸透を推進していくことに加え、現地生産も視野に入れて更に販売体制を強化いたします。新規開拓エリアにおいては、現地の調査を進めることに加え、他国の代理店からのアプローチを同時に仕掛け、早急に事業を拡大できるよう、その取り組みを強化してまいります。

家庭用製品販売においては、メガネケアのノウハウを横展開し、特にスポーツ関連分野を新たな販売の柱とするべく、製品開発に注力してまいります。

T P M S（Tire Pressure Monitoring System：タイヤ空気圧監視装置）の企画・開発・販売におきましては、運輸運送関連企業を中心とするトラック・バス用T P M Sの販売における営業体制の強化及び代理店網を活用した販売体制の改善を行うとともに、補修用センサー販売及びOEMビジネスの拡大を図ります。

電子機器・ソフトウェア開発販売におきましては、3 G回線サービスの終了に伴う既存の遠隔監視システムユーザーの設備更新需要に着実に対応した製品の提供に加え、既存ビジネスの技術ノウハウを活用した民生品開発を推進することにより、新たな事業領域の拡大を目指してまいります。

## <ポラスマテリアル>

産業資材分野では、半導体・液晶・HDD等のハイテク産業に向けた製造装置の消耗部材販売において、更なる清浄度や作業性、耐久性等の技術向上に努め、シェアの維持・拡大を図ります。また、次の収益の柱となる用途の創造を目指し、環境・健康等の分野において、新たな製品開発と顧客の開拓に取り組んでまいります。特に医療分野を重点的な拡大分野と考えており、これまでの部材提供から医療関連製品の自社開発への転換を目指し、研究開発を進めてまいります。

生活資材分野では、国内向けには日本製高品質素材の訴求によって競合との差別化を図るとともに、OEMビジネス・ECビジネスの拡大によりシェアの維持・拡大に努めてまいります。また、海外向けには、スポーツ用途展開による新市場の開拓や、グループリソースを有効活用した新規市場開拓に取り組んでまいります。

また、更なる高品質製品の生産に向けて、生産体制の見直し、新工場棟の建設検討も進めてまいります。

## <サービス・不動産関連>

自動車整備・钣金事業においては、自動車のハイテク化に伴うエーミング技術対応を強化することで入庫車両数の確保を進めるとともに、輸入車メーカー認証の取得による対応車両の拡充を進めてまいります。また、オートディティリングビジネスの拡大に向けて、国内・海外両面の販売展開を進めてまいります。

自動車教習事業においては、当社グループ所有の教習所（兵庫県尼崎市）について、県下でトップクラスの入所者数を維持しつつ、教習所指導員のノウハウを活用した新たな商品開発を進めることで、新たな収益源の構築を目指します。

生活用品企画開発事業においては、ECサイトの再構築と自社企画製品の強化により、これまでアプローチできていなかった顧客層に向けて提案を行えるプラットフォームの確立を目指します。

不動産賃貸事業においては、保有物件の活用・運営効率化に取り組んでまいります。

最後に、グループ全体の課題としまして、経営効率の改善・ガバナンス体制の更なる構築、事業運営の持続性を担保する人材の確保・育成について、引き続き取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

メ モ

招集通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

当社グループは、2020年4月より第6次中期経営計画『Overtake!!』をスタートいたしました。

前中期経営計画においては、ファインケミカルセグメントで海外事業と業務用製品の販売が順調に拡大、また、ポーラスマテリアルセグメントでは半導体市場の活況の下で需要拡大、新しい取り組みとしては電子機器・ソフトウェア開発事業の開始などにより、事業ボリュームの拡大においては一定の成果がありました。

しかしながら、ファインケミカルセグメントにおける自動車を取り巻く環境変化に合せた新たな製品・サービス開発やTPMS等

## ■ 新中期経営計画概要

### 経営理念

#### 生活文化創造企業

- 未来の『あたりまえ』を発見する。
- 当社グループ普遍の経営理念として第3次中期計画より継続

### 経営課題

- 第5次中期計画での積み残し課題推進
- 消費意識変化への対応
- 社会的要請（課題）への更なる対応  
≫ 環境・健康・サステナビリティ等

### 第6次中期計画テーマ

2020年4月～2023年3月  
第67期～第69期

## 「Overtake!!」顧客変化を追い越せ!!

第5次中期計画『SHIFT DOWN!!』により加速した勢いを継続し、顧客（ユーザー）の変化を先取りした価値の創造によって、事業領域の拡張と業容の拡大を目指します。

### 中期計画経営ビジョン

#### より幅広い社会課題（事業機会）に向けた “他にない” 製品・サービス開発と事業化

SDGs等の社会目標イメージや今後想定される新たな社会課題を事業機会と捉えて、当社グループで既に手掛け始めている新たな取り組みに加え、これまで以上に幅広い分野に向けたノウハウの横展開や新製品・サービス開発を目指します。

## ■ 経営基本方針

ファインケミカル（表面改質技術）とポーラスマテリアル（精密多孔質体技術）を2つの柱として、当社グループ既存技術ノウハウの横展開の更なる推進と、新たな技術ノウハウの取り込み・技術ノウハウ同士の掛け合わせによる事業領域の拡張を目指します。

## ■ 主要計数目標

|               | 第66期（実績） | 第69期（目標） |
|---------------|----------|----------|
| 売上高（百万円）      | 24,434   | 27,100   |
| 営業利益（百万円）     | 2,421    | 2,850    |
| ROIC（投下資本利益率） | 5.6%     | 6.1%     |

ROIC＝税引き後営業利益÷事業投下資本





▲自動車の安全・安心・快適



▲医療・衛生



▲建設・ビルメンテナンス



▲プリンタ部材



▲TPMS  
(タイヤ空気圧  
監視装置)



▲自動車ボディコーティング

他にない価値の創出

価値の横展開

基礎となる価値の維持・拡大

## ■ 事業領域拡張に向けた主要施策

### 国内向けの取り組み

|     |           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自動車 | ファインケミカル  | <b>■一般消費者向け製品販売</b> <ul style="list-style-type: none"><li>車外美装に加え、安全・安心・快適を新たな商品カテゴリーとして育成</li><li>レンタカー・カーシェア、商用車向けメンテナンスアイテムの提案</li></ul> <b>■TPMS（タイヤ空気圧監視装置）企画販売</b> <ul style="list-style-type: none"><li>中小型トラック向け製品の展開</li><li>乗用車向け純正対応補修センサー販売の確立</li></ul> |
|     | サービス      | <b>■自動車教習事業</b> <ul style="list-style-type: none"><li>運転免許教習以外の各種研修拡大と新サービス開発</li></ul>                                                                                                                                                                              |
| 産業  | ファインケミカル  | <b>■業務用製品販売</b> <ul style="list-style-type: none"><li>ステンレス防汚を中心に、ビルメンテナンス／建設業界向け製品提供強化</li><li>印刷・接着業界向けの展開拡大。樹脂接着から金属接着へ対象範囲拡大</li></ul> <b>■電子機器・ソフトウェア開発</b> <ul style="list-style-type: none"><li>産業用途製品開発のノウハウを活用した民生品開発への展開</li></ul>                         |
|     | ポーラスマテリアル | <b>■産業資材</b> <ul style="list-style-type: none"><li>医療用途・環境用途・プリンタ用途等、新たな柱となる分野の事業構築</li><li>高付加価値製品の製造に向けた新工場棟の建設推進</li></ul>                                                                                                                                        |
| 生活  | ファインケミカル  | <b>■家庭用製品販売</b> <ul style="list-style-type: none"><li>メガネケアのノウハウを横展開し、スポーツ市場への展開推進</li></ul>                                                                                                                                                                         |
|     | サービス      | <b>■生活用品企画販売</b> <ul style="list-style-type: none"><li>ECビジネスの拡大（自社ECサイトの再構築、オリジナル商品開発強化）</li></ul>                                                                                                                                                                  |

|     |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自動車 | ファインケミカル  | <b>■一般消費者向け製品販売</b> <ul style="list-style-type: none"><li>得意先小売店毎にアジャストした既販車メンテナンスサービスの構築</li><li>DIYニーズの変化を見据えた新たな製品／サービス開発と提供方法提案</li></ul> <b>■業務用製品販売</b> <ul style="list-style-type: none"><li>新車向け主力コーティングブランド『G'ZOX』のリブランディング</li></ul> <b>■TPMS（タイヤ空気圧監視装置）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>代理店網構築による運輸・運送業からの需要の着実な取り込み</li></ul> |
|     | サービス      | <b>■自動車整備钣金事業</b> <ul style="list-style-type: none"><li>自動車ハイテク化に伴う特定整備対応の推進（エーミングHUB工場運営）</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 産業  | ファインケミカル  | <b>■電子機器・ソフトウェア開発</b> <ul style="list-style-type: none"><li>3G停波から4G・5G移行による設備切り替え需要への着実な対応</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                |
| 生活  | ポーラスマテリアル | <b>■生活資材</b> <ul style="list-style-type: none"><li>OEM展開、EC流通強化による販売拡大</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                     |

## 海外向けの取り組み

## 未来の 事業領域



自動車

### ファイン ケミカル

#### ■ 海外事業

- ・既存主力仕向け地のうち、欧州・ロシアを重点地域として販売強化
- ・新仕向け地である、南米・南アジア～西アジアを重点地域として販売強化
- ・各地域において、製品の現地化推進（現地向けパッケージ増加、現地生産検討）

#### ■ 業務用製品販売

- ・OEM製品展開の拡大（国内＋海外）

### サービス

#### ■ 自動車整備钣金事業

- ・輸入車向けディテリング事業強化
- ・海外向けディテリングサービス提供の推進



産業

### ポラス マテリアル

#### ■ 産業資材

- ・半導体洗浄・HDD研磨関連市場における更なる高付加価値化とシェア拡大
- ・アジア向けフラットパネルディスプレイ・プリント基板向け製品の拡販



生活

### ポラス マテリアル

#### ■ 生活資材

- ・海外向けスポーツ用途展開による新市場開拓



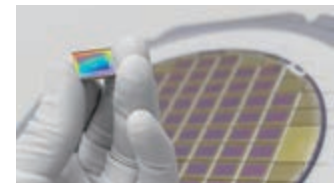
▲ 海外向け  
自動車  
ケミカル



▲ 業務用製品OEM



▲ カーディテリング



▲ 半導体洗浄

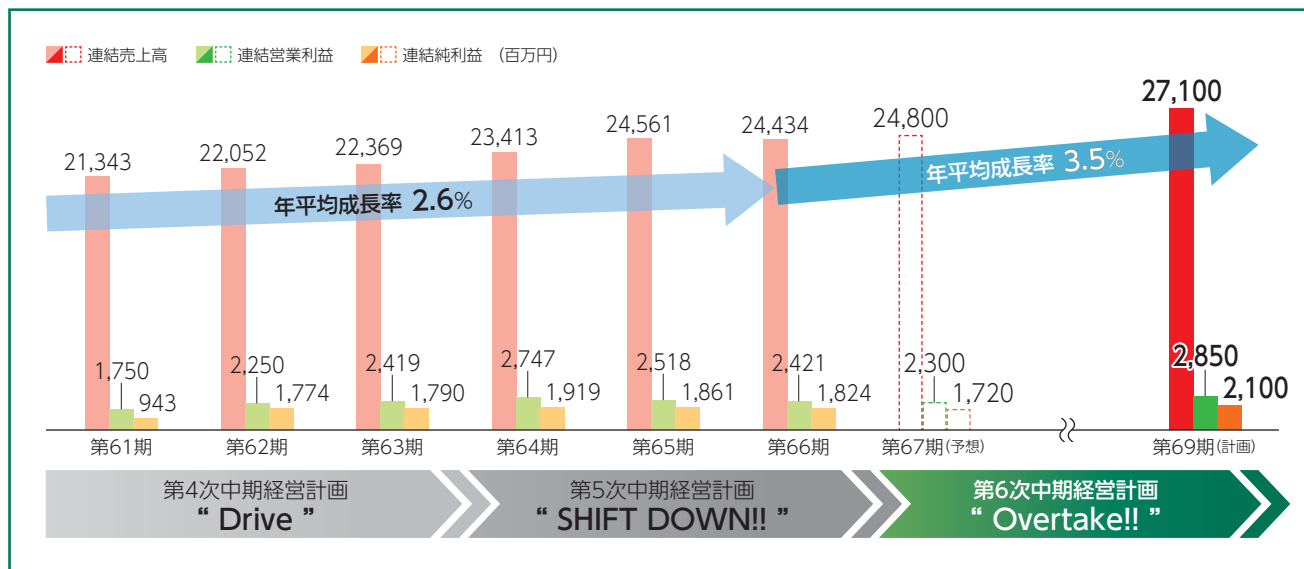


▲ プリント基板洗浄

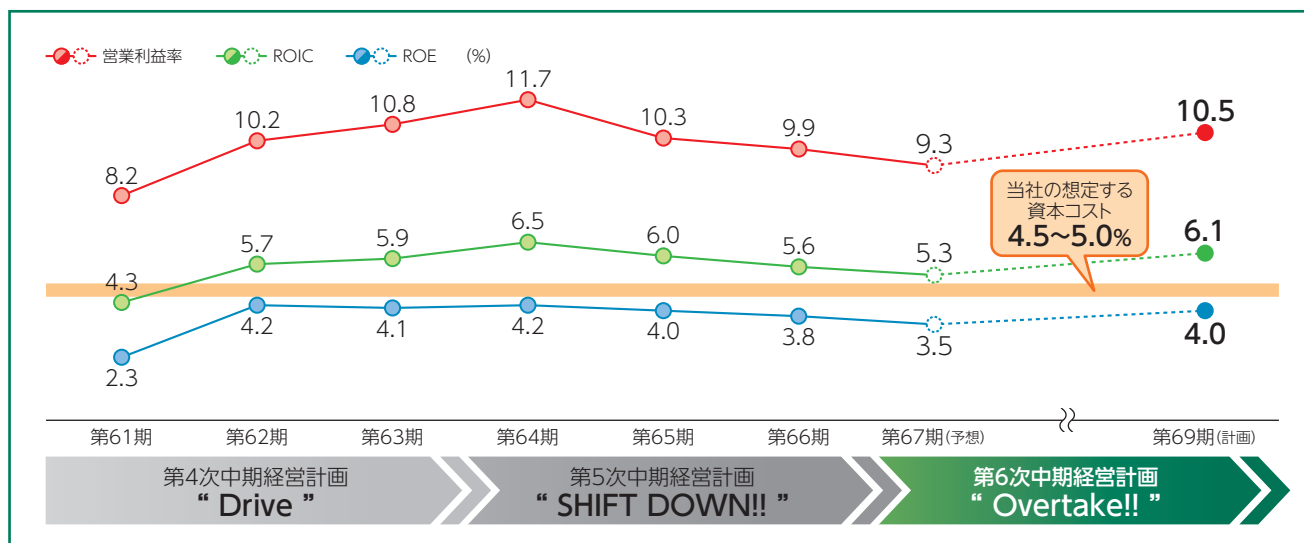


▲ スポーツ

## ■ 計数目標（連結損益）



## ■ 計数目標（連結効率性指標）



# Mid-Term Business Plan

## ■ 計数目標（セグメント別損益）

- 新中期経営計画においては、ファインケミカルセグメントを成長ドライバーに位置付けております。
- ポーラスマテリアルセグメントについては、工場老朽化対応投資及び将来の事業拡大に向けた更なる高品質製品の製造のための新工場建設等を検討しており、これらの実行に伴って前中期計画からは減益となる想定です。

| 事業セグメント   | 売上高             |                 |        | 営業利益            |                 |      |
|-----------|-----------------|-----------------|--------|-----------------|-----------------|------|
|           | 第5次中期計画<br>第66期 | 第6次中期計画<br>第69期 | 増減     | 第5次中期計画<br>第66期 | 第6次中期計画<br>第69期 | 増減   |
| ファインケミカル  | 12,108          | 13,850          | +1,741 | 1,316           | 1,800           | +483 |
| ポーラスマテリアル | 5,678           | 6,050           | +371   | 733             | 640             | ▲93  |
| サービス・不動産  | 6,647           | 7,200           | +552   | 363             | 410             | +46  |
| （連結調整）    | －               | －               | －      | 8               | －               | ▲8   |
| 合計        | 24,434          | 27,100          | +2,666 | 2,421           | 2,850           | +428 |

## ■ 株主還元

- 株主還元については、安定的な配当の継続を基本方針としております。
- 2021年3月期より還元率を再度見直し、『**連結営業利益の25%**』を株主還元の目安といたします。  
（ご参考：前中期計画の還元方針…連結営業利益の20%を株主還元の目安とする。）
- 内部留保は将来の事業拡大と経営体質の強化のための投資に活用いたします。

|              | 配当実績の推移と配当予想 |       |       |       |       |          |          |
|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|----------|----------|
|              | 第61期         | 第62期  | 第63期  | 第64期  | 第65期  | 第66期（予定） | 第67期（予想） |
| 連結営業利益（百万円）  | 1,750        | 2,250 | 2,419 | 2,747 | 2,518 | 2,421    | 2,300    |
| 連結純利益（百万円）   | 943          | 1,774 | 1,790 | 1,919 | 1,861 | 1,824    | 1,720    |
| 配当総額（百万円）    | 370          | 395   | 458   | 478   | 502   | 526      | 550      |
| 一株当たり配当額（円）  | 17.00        | 18.00 | 21.00 | 22.00 | 23.00 | 24.00    | 25.00    |
| 配当性向（％）      | 39.1         | 22.3  | 25.4  | 24.8  | 26.8  | 28.7     | 32.0     |
| 配当総額÷営業利益（％） | 21.1         | 17.6  | 18.9  | 17.4  | 19.9  | 21.7     | 23.9     |

※ 第67期（2020年3月期）の各種予想値および中期経営計画の計画値につきましては、新型コロナウイルス感染症の事業への影響が軽微なものと仮定して設定しております。今後の状況の変化に伴い、業績へ大きな影響を与えることが分かり次第、東京証券取引所TDnetおよび当社WEBサイトにて速やかに修正開示を行う予定です。

## (8) 主要な営業所及び工場 (2020年3月31日現在)

### ① 当社

|         |   |                                                                           |
|---------|---|---------------------------------------------------------------------------|
| 本       | 社 | 大阪市中央区谷町2丁目6番5号                                                           |
| 支店      | 等 | 東京支店（東京都江東区）、大阪営業部（大阪市中央区）<br>名古屋支店（名古屋市昭和区）、福岡支店（福岡市南区）<br>仙台支店（仙台市宮城野区） |
| 営業      | 所 | 札幌営業所（札幌市豊平区）                                                             |
| 工場      |   | 三田工場（兵庫県三田市）                                                              |
| 物流センター  |   | 兵庫県三田市、大阪府東大阪市                                                            |
| R&Dセンター |   | 神戸市北区                                                                     |
| 研修センター  |   | 神戸市北区                                                                     |
| スーパー銭湯  |   | 大阪府東大阪市、大阪府枚方市、兵庫県尼崎市                                                     |

### ② 子会社

#### アイオン株式会社

|     |   |                       |
|-----|---|-----------------------|
| 本   | 社 | 大阪市中央区谷町 2 丁目 6 番 4 号 |
| 営業拠 | 点 | 東京（東京都江東区）、大阪（大阪市中央区） |
| 工   | 場 | 関東工場（茨城県古河市）          |

#### アスモ株式会社

|   |   |                 |   |   |   |        |
|---|---|-----------------|---|---|---|--------|
| 本 | 社 | 大阪市中央区谷町2丁目6番5号 |   |   |   |        |
| 自 | 動 | 車               | 教 | 習 | 所 | 兵庫県尼崎市 |

#### 株式会社くらし企画

|        |   |                     |
|--------|---|---------------------|
| 本      | 社 | 東京都江東区東雲 2 丁目11番12号 |
| 営業     | 所 | 大阪オフィス（大阪市中央区）      |
| 物流センター |   | 埼玉県八潮市、兵庫県西宮市       |

株式会社ソフト９９オートサービス

|   |   |                                                                                           |
|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本 | 社 | 大阪市中央区内淡路町３丁目１番３号                                                                         |
| 営 | 業 | 所<br>鶴見営業所（大阪市鶴見区）、京都営業所（京都府八幡市）<br>東大阪営業所・高井田営業所（大阪府東大阪市）<br>東京営業所（東京都江東区）、千葉営業所（千葉市若葉区） |
| 工 | 場 | 大阪市鶴見区、大阪府東大阪市、東京都江東区、京都府八幡市                                                              |

アライズ株式会社

|   |   |                     |
|---|---|---------------------|
| 本 | 社 | 大阪市中央区谷町２丁目６番５号     |
| 営 | 業 | 所<br>ポシブル尼崎（兵庫県尼崎市） |

株式会社オレンジ・ジャパン

|   |   |                   |
|---|---|-------------------|
| 本 | 社 | 東京都江東区東雲２丁目１１番１２号 |
|---|---|-------------------|

株式会社アンテリア

|   |   |                 |
|---|---|-----------------|
| 本 | 社 | 大阪市中央区谷町２丁目６番５号 |
|---|---|-----------------|

株式会社ハネロン

|   |   |                 |
|---|---|-----------------|
| 本 | 社 | 大阪府八尾市太田２丁目２２番地 |
|---|---|-----------------|

上海速特９９化工有限公司

|   |   |             |
|---|---|-------------|
| 本 | 社 | 上海市松江区五昆路５号 |
|---|---|-------------|

### (9) 企業集団の使用人の状況 (2020年3月31日現在)

| 使用人数 | 前連結会計年度末比増減数 |
|------|--------------|
| 832名 | 35名増         |

(注) 上記には、派遣及びパート等の臨時使用人369名は含んでおりません。

### (10) 主要な借入先の状況 (2020年3月31日現在)

| 借入金       | 借入金残高 |
|-----------|-------|
| 株式会社鳥取銀行  | 61百万円 |
| 株式会社みずほ銀行 | 61百万円 |

(注) 上記借入金は、従業員の福利厚生の充実及び中長期的な企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的とした「従業員持株会支援信託E S O P」の導入によるものです。

### (11) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の現況

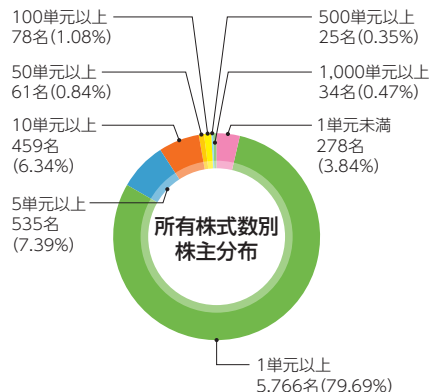
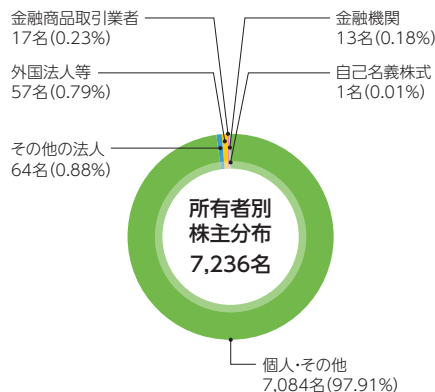
### (1) 株式の状況 (2020年3月31日現在)

- ① 発行可能株式総数 60,000,000株
- ② 発行済株式の総数 22,274,688株
- ③ 株主数 7,236名
- ④ 大株主 (上位10名)

| 株主名                               | 持株数     | 持株比率  |
|-----------------------------------|---------|-------|
| サントレード株式会社                        | 3,246千株 | 14.8% |
| MIKIKO SUZUKI                     | 1,492   | 6.8   |
| CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL | 1,458   | 6.6   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)        | 1,015   | 4.6   |
| 株式会社エイチエース                        | 835     | 3.8   |
| 株式会社三菱UFJ銀行                       | 799     | 3.6   |
| 立花証券株式会社                          | 674     | 3.1   |
| 田中 秀明                             | 661     | 3.0   |
| 公益財団法人ナインティナイン・アジア留学生奨学基金         | 603     | 2.8   |
| 田中 佐世子                            | 594     | 2.7   |

(注) 持株比率は自己株式数 (341,641株) を控除して計算しております。

なお上記には、「従業員持株会支援信託E S O P」に係る信託口が保有する当社株式114,800株は含めておりません。



## (2) 会社役員の状況

### ① 取締役及び監査役の状況（2020年3月31日現在）

| 地 位           | 氏 名       | 担当及び重要な兼職の状況                                                              |
|---------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------|
| 代 表 取 締 役 社 長 | 田 中 秀 明   |                                                                           |
| 常 務 取 締 役     | 辻 平 春 幸   | 生産統括本部長<br>上海速特99化工有限公司 監事                                                |
| 取 締 役         | 奥 埜 佳 秀   | 営業統括本部長兼東京支店長<br>(株)オレンジ・ジャパン 取締役<br>(株)くらし企画 取締役                         |
| 取 締 役         | 石 居 誠     | 企画開発本部長<br>(株)ハネロン 取締役                                                    |
| 取 締 役         | 小 西 紀 行   | アイオン(株) 代表取締役社長                                                           |
| 取 締 役         | 上 尾 茂     | 管理本部長<br>アライズ(株) 取締役<br>(株)ハネロン 取締役                                       |
| 取 締 役         | 中 務 英 三   |                                                                           |
| 取 締 役         | 井 原 慶 子   | 日産自動車(株) 社外取締役<br>慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科特任教授<br>愛知県春日井市広報大使<br>三重県政策アドバイザー |
| 取 締 役         | 藤 井 美 保 代 | (株)ビジネスプラスサポート 代表取締役<br>(社)ミャンマー人財開発機構 代表理事                               |
| 常 勤 監 査 役     | 古 居 祐     | (株)ハネロン 監査役                                                               |
| 監 査 役         | 平 井 康 博   | 平井康博法律事務所 代表 弁護士                                                          |
| 監 査 役         | 竹 村 聡     | 天神橋税理士法人 代表社員 公認会計士・税理士<br>アライズ(株) 監査役<br>(株)ニイタカ 社外取締役（監査等委員）            |
| 監 査 役         | 樋 口 秀 明   | 樋口秀明公認会計士事務所 代表 公認会計士・税理士<br>アイオン(株) 監査役                                  |

- (注) 1. 取締役中務英三氏、取締役井原慶子氏及び取締役藤井美保代氏は、社外取締役であります。
2. 監査役平井康博氏、監査役竹村聡氏及び監査役樋口秀明氏は、社外監査役であります。
3. 監査役竹村聡氏及び監査役樋口秀明氏はともに公認会計士・税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 当社は、中務英三氏、藤井美保代氏、平井康博氏、竹村聡氏、樋口秀明氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## ② 取締役及び監査役の報酬等の総額

## イ. 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区 分                | 人 数        | 報酬等の総額         |
|--------------------|------------|----------------|
| 取 締 役<br>(うち社外取締役) | 9名<br>(3)  | 146百万円<br>(26) |
| 監 査 役<br>(うち社外監査役) | 4名<br>(3)  | 31百万円<br>(18)  |
| 合 計<br>(うち社外役員)    | 13名<br>(6) | 178百万円<br>(45) |

- (注) 1. 上記の報酬等の総額には、当事業年度に係る役員退職慰労引当金繰入額20百万円（うち監査役1百万円）が含まれております。
2. 取締役の報酬限度額は、1998年6月29日開催の第44期定時株主総会において年額3億円以内と決議いただいております。
3. 監査役の報酬限度額は、1998年6月29日開催の第44期定時株主総会において年額3千万円以内と決議いただいております。

## ロ. 社外役員が子会社から受けた役員報酬等の総額

当事業年度において社外役員が子会社から受けた役員報酬等の総額は1名1百万円であります。

## ③ 社外役員に関する事項

## イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等の関係

- ・取締役井原慶子氏は、日産自動車(株)の社外取締役であります。当社と同社との間には特別の利害関係はありません。
- ・取締役藤井美保代氏と当社との間には特別の利害関係はありません。
- ・同氏は、(株)ビジネスプラスサポートの代表取締役であります。当社と同社との間には特別の利害関係はありません。
- ・監査役竹村聡氏は、天神橋税理士法人の代表社員及び(株)ニイタカの社外取締役（監査等委員）であります。当社と天神橋税理士法人及び(株)ニイタカの間には特別の利害関係はありません。また、同氏は、当社100%子会社のアライズ(株)の監査役であります。
- ・監査役樋口秀明氏は、当社100%子会社のアイオン(株)の監査役であります。

□. 当事業年度における主な活動状況

・取締役会及び監査役会への出席状況

| 区 分       | 取締役会（14回開催） |      | 監査役会（13回開催） |      |
|-----------|-------------|------|-------------|------|
|           | 出席回数        | 出席率  | 出席回数        | 出席率  |
| 取締役 中務英三  | 14回         | 100% | 13回         | 100% |
| 取締役 井原慶子  | 14回         | 100% | —           | —    |
| 取締役 藤井美保代 | 11回         | 100% | —           | —    |
| 監査役 平井康博  | 14回         | 100% | 13回         | 100% |
| 監査役 竹村 聡  | 14回         | 100% | 13回         | 100% |
| 監査役 樋口 秀明 | 14回         | 100% | 13回         | 100% |

(注) 1. 取締役藤井美保代氏は、2019年6月26日開催の第65期定時株主総会において選任され、出席率は就任後に開催された取締役会の回数により算出しております。

2. 取締役中務英三氏は、監査役会に定期的に出席し、監査役との連携を図っております。

3. 上記の他、会社法第370条及び当社定款第25条の規定に基づき、取締役会決議があったものとみなす書面決議が4回あります。

・取締役会及び監査役会における発言状況

取締役中務英三氏は、取締役会において、約30年間にわたり海外（英国）の複数の企業で、財務・経理・経営企画を中心として管理部門全般の業務に従事したというグローバルな経験と知識に基づき、経営から独立した客観・中立的立場から、適宜助言・発言しております。

取締役井原慶子氏は、取締役会において、海外の複数カーメーカー等の技術開発に関与された経験、クルマ社会のインフラ整備に関する有識者としての知見等に基づき、より多様多角な視点が求められる当社取締役会の運営に関し、経営から独立した客観・中立的立場から、適宜助言・発言しております。

取締役藤井美保代氏は、法人向けビジネス研修や、生産性向上・業務改善のコンサルティング業に関する幅広い知見・実績に基づき、より多様多角な視点が求められる当社取締役会の運営に関し、経営から独立した客観・中立的立場から、適宜助言・発言しております。

監査役平井康博氏は、取締役会では主に弁護士としての専門的見地からコンプライアンス経営の強化や経営執行等の適法性に関する助言を、監査役会では監査の方法や法律上の事項について助言・発言しております。

監査役竹村聡氏は、取締役会では主に公認会計士として財務・会計等の見地から経営の意思決定プロセスの妥当性、適法性に関する助言を、監査役会では監査の方法や法律上の事項について助言・発言しております。

監査役樋口秀明氏は、取締役会では主に経営学修士、公認会計士及び税理士としての専門的見地から経営の意思決定プロセスの妥当性、適法性に関する助言を、監査役会では監査の方法や法律上の事項について助言・発言しております。

## 【ご参考】 「取締役会の実効性分析・評価」 について

【コーポレート・ガバナンス・コード 基本原則 4 取締役会等の責務 補充原則 4-11③】

2019年4月1日～2020年3月31日に開催しました取締役会を対象に、取締役会の実効性について、社外取締役及び監査役による客観的な分析・評価を実施いたしました。当社は本取締役会評価の結果を受け、取締役会運営の改善を継続的に進めてまいります。

| 分 類              | No         | 実 効 性 の 分 析 ・ 評 価 項 目            | 評価結果（※）    |
|------------------|------------|----------------------------------|------------|
| 取<br>締<br>役<br>会 | 事前準備       | 1 適切な参加人員数と多様性の確保                | 十分に機能している。 |
|                  |            | 2 適切な開催スケジュール調整                  | 十分に機能している。 |
|                  |            | 3 適切な議案数の設定                      | 十分に機能している。 |
|                  |            | 4 適切なタイミングでの議案上程                 | 十分に機能している。 |
|                  |            | 5 審議に必要な情報の事前提供体制                | 概ね機能している。  |
|                  | 会議運営       | 6 適切なリスクテイクを支える環境整備              | 十分に機能している。 |
|                  |            | 7 適切な議事進行による十分な審議                | 十分に機能している。 |
|                  |            | 8 社外役員の質問・意見に対する適切な回答・採用         | 十分に機能している。 |
|                  |            | 9 行動憲章とコーポレート・ガバナンス・ポリシーに沿った意思決定 | 十分に機能している。 |
|                  | 重要議案<br>対応 | 10 経営戦略・経営計画の検討と設定               | 十分に機能している。 |
|                  |            | 11 事業運営の状況報告                     | 概ね機能している。  |
|                  |            | 12 必要に応じた経営戦略・経営計画の修正            | 十分に機能している。 |
|                  |            | 13 事業運営に関する主要リスク報告と対策に関する体制整備    | 十分に機能している。 |
|                  |            | 14 各種リスク管理体制の整備運用に関する体制整備        | 十分に機能している。 |
|                  |            | 15 利益相反の管理                       | 十分に機能している。 |
| 取締役会外の<br>補助体制   | 16         | 内部監査部門と社外役員との連携体制整備              | 十分に機能している。 |
|                  | 17         | 社外役員間の情報交換・情報共有体制整備              | 十分に機能している。 |

### （※）評価方法及び評価基準について

社外取締役3名及び監査役4名の全7名により、各項目別に『機能している』・『改善を要する』の2段階選択式評価を実施しております。

- ⇒ 評価者全7名中『機能している』評価が6名以上…………… 十分に機能している。
- ⇒ 評価者全7名中『機能している』評価が4～5名…………… 概ね機能している。
- ⇒ 評価者全7名中『機能している』評価が2～3名…………… 機能しているが、一部に課題がある。
- ⇒ 評価者全7名中『機能している』評価が1名以下…………… 早急に改善すべき課題がある。

### (3) 会計監査人の状況

- ① 名称 ひびき監査法人
- ② 報酬等の額

| 区 分                                    | 報酬等の額 |
|----------------------------------------|-------|
| 1. 当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額              | 27百万円 |
| 2. 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 27百万円 |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、会計監査人の監査計画、監査の実施状況、及び報酬見積りの算出根拠等を確認し、検討した結果、会計監査人の報酬等について同意をしております。

#### ③ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨及びその理由を報告いたします。

※本事業報告中の記載数字は、金額及び株式数につきましては、表示単位未満を切り捨て、比率その他につきましては、四捨五入して表示しております。

# 連結貸借対照表 (2020年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資産の部            |                   |
|-----------------|-------------------|
| 科 目             | 金 額               |
| <b>流動資産</b>     | <b>25,725,363</b> |
| 現金及び預金          | 18,274,995        |
| 受取手形及び売掛金       | 3,160,601         |
| 電子記録債権          | 559,874           |
| 有価証券            | 200,549           |
| 商品及び製品          | 2,114,037         |
| 仕掛品             | 471,697           |
| 原材料及び貯蔵品        | 748,216           |
| その他             | 215,512           |
| 貸倒引当金           | △20,120           |
| <b>固定資産</b>     | <b>29,529,871</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>22,214,925</b> |
| 建物及び構築物         | 5,375,974         |
| 機械装置及び運搬具       | 822,006           |
| 土地              | 15,545,376        |
| 建設仮勘定           | 227,281           |
| その他             | 244,286           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>199,119</b>    |
| のれん             | 17,250            |
| その他             | 181,868           |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>7,115,826</b>  |
| 投資有価証券          | 6,513,942         |
| 繰延税金資産          | 317,490           |
| その他             | 321,195           |
| 貸倒引当金           | △36,802           |
| <b>資産合計</b>     | <b>55,255,234</b> |

| 負債の部           |                   |
|----------------|-------------------|
| 科 目            | 金 額               |
| <b>流動負債</b>    | <b>3,316,785</b>  |
| 支払手形及び買掛金      | 1,109,442         |
| 未払金            | 405,605           |
| 未払費用           | 800,995           |
| 未払法人税等         | 518,975           |
| その他            | 481,765           |
| <b>固定負債</b>    | <b>3,558,164</b>  |
| 長期借入金          | 123,225           |
| 繰延税金負債         | 163,543           |
| 再評価に係る繰延税金負債   | 830,663           |
| 役員退職慰労引当金      | 336,725           |
| 退職給付に係る負債      | 1,598,801         |
| その他            | 505,205           |
| <b>負債合計</b>    | <b>6,874,949</b>  |
| 純資産の部          |                   |
| <b>株主資本</b>    | <b>47,941,429</b> |
| 資本金            | 2,310,056         |
| 資本剰余金          | 3,286,444         |
| 利益剰余金          | 42,712,980        |
| 自己株式           | △368,051          |
| その他の包括利益累計額    | 438,855           |
| その他有価証券評価差額金   | 1,084,887         |
| 土地再評価差額金       | △643,437          |
| 為替換算調整勘定       | 53,477            |
| 退職給付に係る調整累計額   | △56,073           |
| <b>純資産合計</b>   | <b>48,380,284</b> |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>55,255,234</b> |

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額        |         |
|-----------------|------------|---------|
| 売上高             | 24,434,278 |         |
| 売上原価            | 15,487,588 |         |
| 売上総利益           | 8,946,690  |         |
| 販売費及び一般管理費      | 6,524,850  |         |
| 営業利益            | 2,421,839  |         |
| 営業外収益           |            |         |
| 受取利息            | 21,218     |         |
| 受取配当金           | 59,602     |         |
| 貸倒引当金戻入額        | 412        |         |
| その他             | 92,549     | 173,782 |
| 営業外費用           |            |         |
| 支払利息            | 12         |         |
| その他             | 9,912      | 9,925   |
| 経常利益            | 2,585,696  |         |
| 特別利益            |            |         |
| 固定資産売却益         | 12,273     |         |
| 投資有価証券売却益       | 88,665     | 100,939 |
| 特別損失            |            |         |
| 固定資産除却損         | 15,958     |         |
| 投資有価証券評価損       | 52,715     |         |
| 減損損失            | 8,758      |         |
| その他             | 565        | 77,998  |
| 税金等調整前当期純利益     | 2,608,637  |         |
| 法人税、住民税及び事業税    | 832,293    |         |
| 法人税等調整額         | △47,798    | 784,495 |
| 当期純利益           | 1,824,141  |         |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | —          |         |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,824,141  |         |

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結株主資本等変動計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：千円)

| 項 目                           | 株 主 資 本   |           |            |          |            |
|-------------------------------|-----------|-----------|------------|----------|------------|
|                               | 資本金       | 資本剰余金     | 利益剰余金      | 自己株式     | 株主資本合計     |
| 当期首残高                         | 2,310,056 | 3,286,444 | 41,415,232 | △445,095 | 46,566,638 |
| 連結会計年度中の変動額                   |           |           |            |          |            |
| 剰余金の配当                        |           |           | △526,393   |          | △526,393   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益           |           |           | 1,824,141  |          | 1,824,141  |
| 自己株式の取得                       |           |           |            | △46      | △46        |
| 自己株式の処分                       |           |           |            | 77,090   | 77,090     |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額（純額） |           |           |            |          |            |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | —         | —         | 1,297,747  | 77,043   | 1,374,791  |
| 当期末残高                         | 2,310,056 | 3,286,444 | 42,712,980 | △368,051 | 47,941,429 |

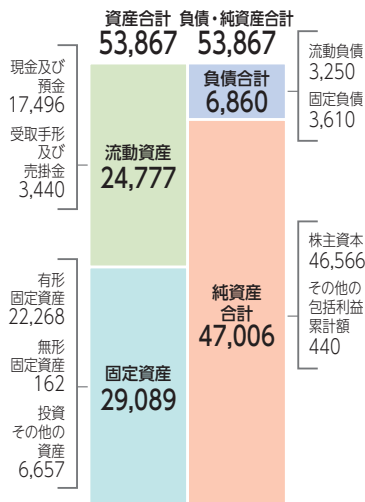
| 項 目                           | その他の包括利益累計額      |              |              |                  |                   | 純資産合計      |
|-------------------------------|------------------|--------------|--------------|------------------|-------------------|------------|
|                               | その他有価証券<br>評価差額金 | 土地再評価<br>差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括利益<br>累計額合計 |            |
| 当期首残高                         | 1,096,704        | △643,437     | 59,762       | △72,895          | 440,134           | 47,006,772 |
| 連結会計年度中の変動額                   |                  |              |              |                  |                   |            |
| 剰余金の配当                        |                  |              |              |                  |                   | △526,393   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益           |                  |              |              |                  |                   | 1,824,141  |
| 自己株式の取得                       |                  |              |              |                  |                   | △46        |
| 自己株式の処分                       |                  |              |              |                  |                   | 77,090     |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額（純額） | △11,816          | —            | △6,284       | 16,822           | △1,279            | △1,279     |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | △11,816          | —            | △6,284       | 16,822           | △1,279            | 1,373,512  |
| 当期末残高                         | 1,084,887        | △643,437     | 53,477       | △56,073          | 438,855           | 48,380,284 |

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

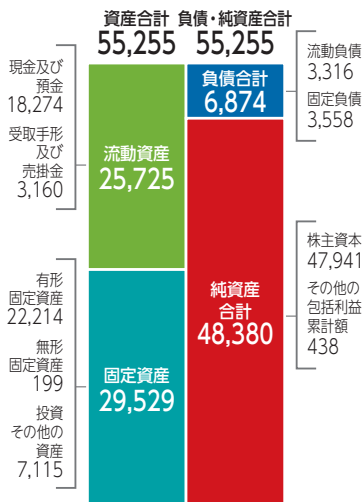
## 連結計算書類ポイント解説

### 連結貸借対照表の概要 (百万円)

前 期 末 (2019年3月31日現在)



当 期 末 (2020年3月31日現在)



(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### ■ 解説

##### ■ 資産合計

好調な営業活動により、現金及び預金が778百万円増加。また、たな卸資産が275百万円、有価証券及び投資有価証券が償還や購入等により418百万円増加し、これにより前期比1,388百万円の増加。

##### ■ 負債合計

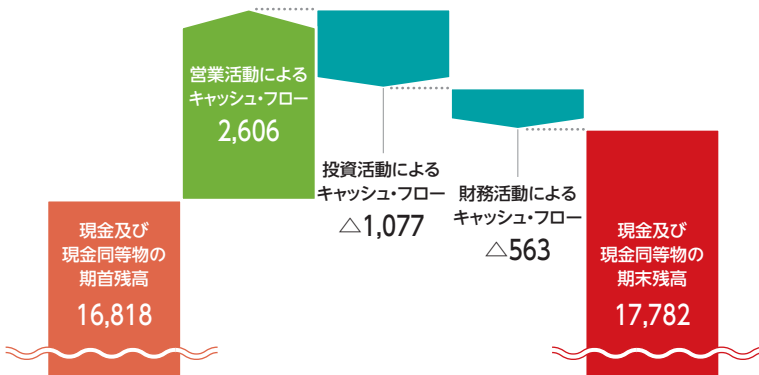
未払金及び未払費用が110百万円、長期借入金が73百万円減少した一方、未払法人税等が195百万円増加したことで前期比14百万円の増加。

##### ■ 純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益1,824百万円、配当金の支払い526百万円となった結果、利益剰余金が1,297百万円増加したことで、前期比1,373百万円増加。

### 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)

当 期 (2019年4月1日～2020年3月31日)



(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### ■ 解説

##### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

|                  |          |
|------------------|----------|
| 税金等調整前当期純利益      | 2,608百万円 |
| 減価償却費            | 796百万円   |
| たな卸資産の増減額 (▲は増加) | ▲278百万円  |
| 法人税等の支払額         | ▲644百万円  |

##### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 定期預金の純増減額 (▲は増加)   | 184百万円  |
| 有形固定資産の取得による支出     | ▲783百万円 |
| 投資有価証券の取得による支出     | ▲907百万円 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 502百万円  |

##### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

|               |         |
|---------------|---------|
| 長期借入金の返済による支出 | ▲73百万円  |
| 配当金の支払額       | ▲525百万円 |
| 自己株式の処分による収入  | 77百万円   |

# 貸借対照表 (2020年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資産の部            |                   |
|-----------------|-------------------|
| 科 目             | 金 額               |
| <b>流動資産</b>     | <b>19,419,021</b> |
| 現金及び預金          | 15,846,699        |
| 受取手形            | 23,865            |
| 電子記録債権          | 357,236           |
| 売掛金             | 1,253,820         |
| 有価証券            | 100,225           |
| 商品及び製品          | 1,279,456         |
| 仕掛品             | 88,773            |
| 原材料及び貯蔵品        | 425,312           |
| 前払費用            | 32,489            |
| 未収収益            | 5,222             |
| その他             | 6,869             |
| 貸倒引当金           | △947              |
| <b>固定資産</b>     | <b>27,164,852</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>16,819,703</b> |
| 建物              | 4,407,362         |
| 構築物             | 135,521           |
| 機械装置            | 141,093           |
| 車両運搬具           | 46,580            |
| 工具器具備品          | 76,662            |
| 土地              | 11,818,584        |
| 建設仮勘定           | 193,898           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>132,264</b>    |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>10,212,883</b> |
| 投資有価証券          | 6,113,593         |
| 関係会社株式・出資金      | 2,417,256         |
| 関係会社長期貸付金       | 1,963,478         |
| 会員権             | 37,856            |
| その他             | 127,725           |
| 貸倒引当金           | △447,026          |
| <b>資産合計</b>     | <b>46,583,874</b> |

| 負債の部            |                   |
|-----------------|-------------------|
| 科 目             | 金 額               |
| <b>流動負債</b>     | <b>1,588,506</b>  |
| 買掛金             | 486,518           |
| 未払金             | 197,861           |
| 未払費用            | 369,265           |
| 未払法人税等          | 378,000           |
| 未払消費税等          | 73,315            |
| その他             | 83,546            |
| <b>固定負債</b>     | <b>2,149,567</b>  |
| 長期借入金           | 123,225           |
| 繰延税金負債          | 189,177           |
| 再評価に係る繰延税金負債    | 830,663           |
| 退職給付引当金         | 515,662           |
| 役員退職慰労引当金       | 175,720           |
| 預り保証金           | 305,721           |
| その他             | 9,397             |
| <b>負債合計</b>     | <b>3,738,074</b>  |
| 純資産の部           |                   |
| <b>株主資本</b>     | <b>42,403,328</b> |
| <b>資本金</b>      | <b>2,310,056</b>  |
| <b>資本剰余金</b>    | <b>3,286,444</b>  |
| 資本準備金           | 3,116,158         |
| その他資本剰余金        | 170,286           |
| <b>利益剰余金</b>    | <b>37,174,879</b> |
| 利益準備金           | 148,040           |
| その他利益剰余金        | 37,026,838        |
| 別途積立金           | 30,000,000        |
| 繰越利益剰余金         | 7,026,838         |
| <b>自己株式</b>     | <b>△368,051</b>   |
| <b>評価・換算差額等</b> | <b>442,471</b>    |
| その他有価証券評価差額金    | 1,085,908         |
| <b>土地再評価差額金</b> | <b>△643,437</b>   |
| <b>純資産合計</b>    | <b>42,845,800</b> |
| <b>負債純資産合計</b>  | <b>46,583,874</b> |

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額        |         |
|--------------|------------|---------|
| 売上高          | 12,459,116 |         |
| 売上原価         | 6,824,520  |         |
| 売上総利益        | 5,634,596  |         |
| 販売費及び一般管理費   | 4,016,962  |         |
| 営業利益         | 1,617,633  |         |
| 営業外収益        |            |         |
| 受取利息         | 31,362     |         |
| 受取配当金        | 211,288    |         |
| 仕入割引         | 11,121     |         |
| 貸倒引当金戻入額     | 330        |         |
| その他          | 41,816     | 295,920 |
| 営業外費用        |            |         |
| 支払利息         | 11         |         |
| 貸倒引当金繰入額     | 47,918     |         |
| その他          | 387        | 48,317  |
| 経常利益         | 1,865,236  |         |
| 特別利益         |            |         |
| 固定資産売却益      | 1,268      |         |
| 投資有価証券売却益    | 88,665     | 89,934  |
| 特別損失         |            |         |
| 固定資産除却損      | 3,120      |         |
| 投資有価証券評価損    | 52,715     |         |
| その他          | 565        | 56,401  |
| 税引前当期純利益     | 1,898,769  |         |
| 法人税、住民税及び事業税 | 585,860    |         |
| 法人税等調整額      | △19,259    | 566,601 |
| 当期純利益        | 1,332,167  |         |

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：千円)

| 項 目                         | 株 主 資 本   |           |          |           |         |            |           |            |          |            |
|-----------------------------|-----------|-----------|----------|-----------|---------|------------|-----------|------------|----------|------------|
|                             | 資本金       | 資本剰余金     |          |           | 利益剰余金   |            |           |            | 自己株式     | 株主資本合計     |
|                             |           | 資本準備金     | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計   | 利益準備金   | その他利益剰余金   |           | 利益剰余金合計    |          |            |
|                             |           |           |          |           |         | 別途積立金      | 繰越利益剰余金   |            |          |            |
| 当期首残高                       | 2,310,056 | 3,116,158 | 170,286  | 3,286,444 | 148,040 | 30,000,000 | 6,221,064 | 36,369,104 | △445,095 | 41,520,510 |
| 事業年度中の変動額                   |           |           |          |           |         |            |           |            |          |            |
| 剰余金の配当                      |           |           |          |           |         |            | △526,393  | △526,393   |          | △526,393   |
| 当期純利益                       |           |           |          |           |         |            | 1,332,167 | 1,332,167  |          | 1,332,167  |
| 自己株式の取得                     |           |           |          |           |         |            |           |            | △46      | △46        |
| 自己株式の処分                     |           |           |          |           |         |            |           |            | 77,090   | 77,090     |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額（純額） |           |           |          |           |         |            |           |            |          |            |
| 事業年度中の変動額合計                 | —         | —         | —        | —         | —       | —          | 805,774   | 805,774    | 77,043   | 882,817    |
| 当期末残高                       | 2,310,056 | 3,116,158 | 170,286  | 3,286,444 | 148,040 | 30,000,000 | 7,026,838 | 37,174,879 | △368,051 | 42,403,328 |

| 項 目                         | 評価・換算差額等         |          |            | 純資産合計      |
|-----------------------------|------------------|----------|------------|------------|
|                             | その他有価証券<br>評価差額金 | 土地再評価差額金 | 評価・換算差額等合計 |            |
| 当期首残高                       | 1,096,329        | △643,437 | 452,892    | 41,973,403 |
| 事業年度中の変動額                   |                  |          |            |            |
| 剰余金の配当                      |                  |          |            | △526,393   |
| 当期純利益                       |                  |          |            | 1,332,167  |
| 自己株式の取得                     |                  |          |            | △46        |
| 自己株式の処分                     |                  |          |            | 77,090     |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額（純額） | △10,421          |          | △10,421    | △10,421    |
| 事業年度中の変動額合計                 | △10,421          | —        | △10,421    | 872,396    |
| 当期末残高                       | 1,085,908        | △643,437 | 442,471    | 42,845,800 |

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結計算書類に係る会計監査報告の謄本

## 独立監査人の監査報告書

2020年5月15日

株式会社ソフト９９コーポレーション  
取締役会 御中

ひびき監査法人

大阪事務所

代表社員 公認会計士 安原 徹 ㊞  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 安岐 浩一 ㊞  
業務執行社員

### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社ソフト９９コーポレーションの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ソフト９９コーポレーション及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。更に、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

## 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 計算書類に係る会計監査報告の謄本

## 独立監査人の監査報告書

2020年5月15日

株式会社ソフト９９コーポレーション  
取締役会 御中

ひびき監査法人

大阪事務所

代表社員 公認会計士 安原 徹 ㊞  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 安岐 浩一 ㊞  
業務執行社員

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ソフト９９コーポレーションの2019年4月1日から2020年3月31日までの第66期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。更に、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監査役会の監査報告の謄本

---

## 監査報告書

当監査役会は、2019年4月1日から2020年3月31日までの第66期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受ける他、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。

②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして、会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。

③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況につき報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人ひびき監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人ひびき監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2020年5月18日

株式会社ソフト９９コーポレーション 監査役会

|       |   |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|---|
| 常勤監査役 | 古 | 居 | 祐 | ㊞ |   |
| 監査役   | 平 | 井 | 康 | 博 | ㊞ |
| 監査役   | 竹 | 村 | 聡 | ㊞ |   |
| 監査役   | 樋 | 口 | 秀 | 明 | ㊞ |

(注) 監査役平井康博氏、監査役竹村聡氏及び監査役樋口秀明氏はいずれも社外監査役であります。

以 上

# 株主メモ

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                               |       |      |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 事業年度                   | 4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                                                                                                                                               |       |      |
| 期末配当金<br>受領株主確定日       | 3月31日                                                                                                                                                                                                                                                         |       |      |
| 中間配当金<br>受領株主確定日       | 9月30日                                                                                                                                                                                                                                                         |       |      |
| 定時株主総会                 | 毎年6月                                                                                                                                                                                                                                                          | 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                                                                                                                                 |       |      |
| 同 連 絡 先                | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号<br>Tel 0120-094-777（通話料無料）                                                                                                                                                                                |       |      |
| 公 告 方 法                | <p>電子公告<br/>ウェブサイト：<a href="https://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html">https://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html</a><br/>電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。</p> <p>※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。</p> |       |      |
| 上場金融商品取引所              | 株式会社東京証券取引所市場第二部（証券コード：4464）                                                                                                                                                                                                                                  |       |      |

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待

株主様に当社グループに対するご理解を深めていただくため、年に1度※、株主優待を実施しております。2020年3月期の株主優待の概要は下記のとおりです。

|        | 100～499株            | 500～999株                           | 1,000株～                            |
|--------|---------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 3年以上保有 | 当社指定製品セット<br>（選択なし） | 当社及びグループ会社の製品・サービス<br>5コースから3コース選択 | 当社及びグループ会社の製品・サービス<br>5コースから4コース選択 |
| 3年未満保有 | 当社指定製品セット<br>（選択なし） | 当社及びグループ会社の製品・サービス<br>5コースから2コース選択 | 当社及びグループ会社の製品・サービス<br>5コースから3コース選択 |

※ 2020年3月31日の株主名簿に記載の株主様が対象となります。ただし、単元未満株式のみ持ちの株主様は対象外とさせていただきます。

メ モ

# 会場ご案内図

大阪市中央区谷町2丁目6番5号

当社本社 9階会議室 TEL 06-6942-8761

※駐車場の用意をいたしておりませんので、お車でのご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

交通  
機  
関

地下鉄を  
ご利用の場合

中央線・谷町線

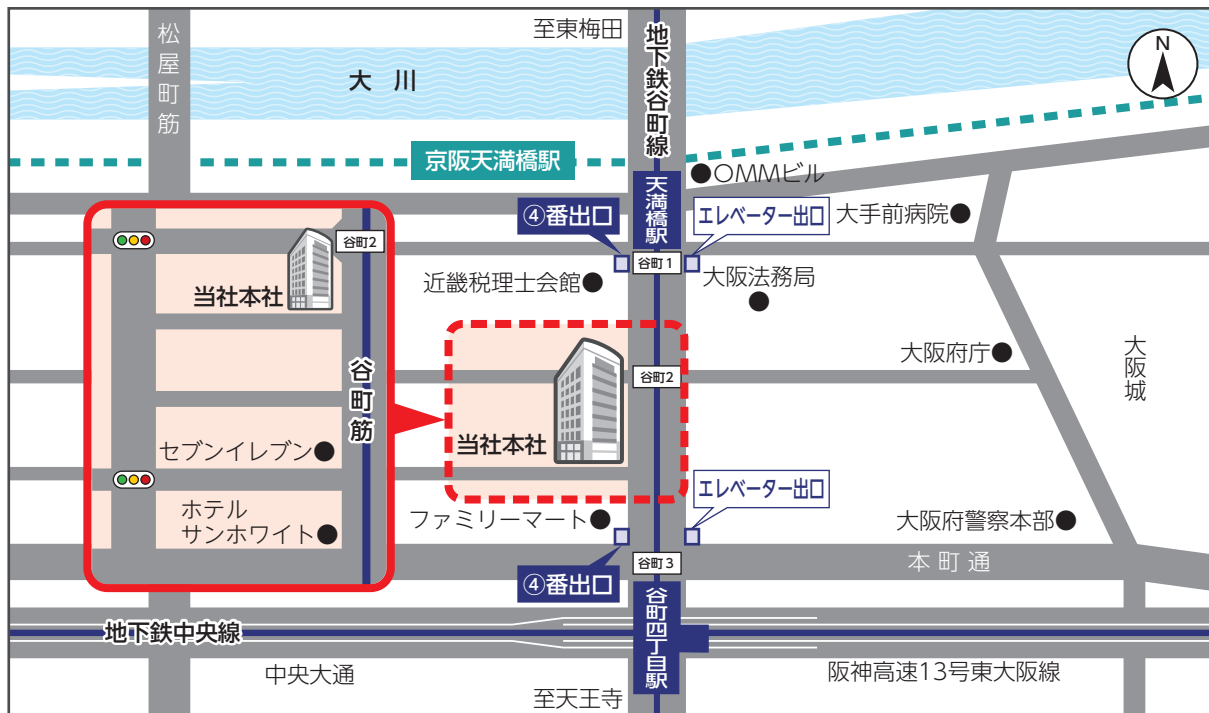
「谷町四丁目」駅下車 ④出口 徒歩 約 4 分

谷町線

「天満橋」駅下車 ④出口 徒歩 約 6 分

京阪電車を  
ご利用の場合

「天満橋」駅下車 徒歩 約 9 分



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。